

第2期 京都文化芸術都市創生計画に関する取組状況

第2期 京都文化芸術都市創生計画					29年度実績(30年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の29年度取組予定から転記しています。	29年度末 時点の 進捗状況	30年度取組予定	
方向性	見出し	重要	新規	施策 番号	施策・事業名及び内容 (★は重要事業、●は推進施策、◎は新規事業) ※第2期計画内容			
方向性1	暮らしの中に根付いた文化を楽しみ、継承する	○		1	<p>★★「地域に根差した暮らしの文化」の振興</p> <p>京都には、地域に根差した暮らしの文化が息づいており、それらをいかしたまちづくりが展開されています。暮らしの文化をいかしたまちづくりは、京都に息づく「子どもを地域や社会の宝として大切に育む「はぐくみ文化」」の更なる推進にも寄与します。</p> <p>本市では、東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、各区の区民提案により実施する本市の支援事業のうちから「文化芸術によるまちづくり事業」を認定し、認定を示すロゴマークを掲示する取組を平成26年度から開始しています。今後、地域における文化芸術を通じたまちづくりや、おもてなしの取組などについて話し合う場も創設し、これらの取組の集大成として、「京都おもてなし百科(仮称)」を作成して、文化芸術による地域のまちづくりを進めます。</p>	<p>○「文化芸術による地域のまちづくり事業」を認定101件</p> <p>○商店街ツアーの実施及び商店街情報の発信</p>	<p>○「文化芸術による地域のまちづくり事業」を認定</p> <p>○商店街情報の発信</p>	
方向性1	暮らしの中に根付いた文化を楽しみ、継承する	○	○	2	<p>★伝統産業品等を暮らしの中で活用し子どもの感性を“はぐくむ”取組の推進(◎新規)</p> <p>子どもの頃から伝統産業品等を暮らしの中で使う機会を創出することで、子どもたちに伝統的な本物のものの良さを伝え、感性を養うため、京都伝統産業ふれあい館等と連携し、伝統産業が暮らしの中で根付く文化を育みます。</p>	<p>○京都伝統産業ふれあい館に訪れた、府内外の小中学校の生徒に対して、希望性により京都の伝統工芸や伝統産業製品に関する解説を行ない、見学者の満足度を高める。</p>	<p>企画・構 想・設計 段階</p>	
方向性1	暮らしの中に根付いた文化を楽しみ、継承する	○		3	<p>★文化芸術と暮らしの関係性を再認識する取組など暮らしの文化の継承、普及の促進</p> <p>京都では、暮らしの中に溶け込んでいる文化芸術の力によって、市民が美意識を培い、感性を受け継いできました。その関係が希薄になってきている今、改めて文化芸術と暮らしを結び付ける取組、例えば、町家等を活用した茶道、華道、香道等の文化を体験する機会の創出や、食文化をはじめとする京都ならではの衣食住の習慣や年中行事等を継承する取組等を実施します。</p>	<p>○“京都をつなぐ無形文化遺産”の選定及び普及啓発事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「京の年中行事」を選定(3月) ・「京の食文化」料理教室(8.10.12.3月) ・小学生対象「京おどり」(3月) ・「お地藏さんと地藏盆」夏休み親子歴史教室(8月) ・親子お菓子教室(6.9月) ・京菓子展(10月) <p>○食文化の情報発信事業</p>	<p>実施済み 又は実施 中</p>	<p>○“暮らしの文化はぐくみ事業”の実施 (“京都をつなぐ無形文化遺産”の5年間の成果を踏まえ、子どもたちがこれらの文化を体験できる普及啓発事業等を行う)</p> <p>○“京都をつなぐ無形文化遺産”普及啓発事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「京の食文化」料理教室(1月・4月) ・「京の菓子文化」親子お菓子教室(年2回) <p>○「和装」、「旅館」、「食文化」等をテーマにしたマンガの作成</p>
方向性1	暮らしの中に根付いた文化を楽しみ、継承する	○		4	<p>★「真のワーク・ライフ・バランス」の推進による地域に根差した暮らしの文化の継承</p> <p>仕事と家庭生活の調和だけでなく、地域活動や社会貢献活動等に積極的に参画する「真のワーク・ライフ・バランス」を推進することによって、地域活動が活発になり、地域に根差した暮らしの文化の継承を促進します。</p>	<p>○「真のワーク・ライフ・バランス」推進事業</p> <p>「真のワーク・ライフ・バランス」の普及・理解の促進に向けて、企業に対する表彰、補助及びアドバイザーの派遣、市民からの実践エピソードの募集、各局等々のイベント等を活用した啓発等を実施</p>	<p>実施済み 又は実施 中</p>	<p>○「真のワーク・ライフ・バランス」推進事業</p> <p>「真のワーク・ライフ・バランス」の普及・理解の促進に向けて、啓発や企業に対する支援等を実施する。</p> <p>○「真のワーク・ライフ・バランス」のための「働き方改革」の推進</p> <p>市民、企業等における「働き方改革」の気運の醸成を図り、「真のワーク・ライフ・バランス」の理解の浸透と実践の促進を図る。</p>

第2期 京都文化芸術都市創生計画					29年度実績(30年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の29年度取組予定から転記しています。	29年度末 時点の 進捗状況	30年度取組予定
方向性	見出し	重要	新規	施策 番号			
方向性1	暮らしの中に根付いた文化を楽しみ、継承する	○	○	5	<p>★京都の文化、アイデンティティを大切にするための講座等の実施(◎新規)</p> <p>市民が地域固有の文化を深く理解し、主体的な創造活動や文化芸術体験を行っていくきっかけとなる講座を開催することにより、京都、ひいては日本の文化やアイデンティティを大切に、国内外に日本の文化を発信できる人材育成を目指します。</p>	<p>○京都学生広報部において、京都学生祭典実行委員と連携して、毎月15日を「京都学生文化発信の日」と設定し、京都の文化人によるレクチャーやインタビュー等を通じて京都の文化について学び、学生の視点で発信(29年度のみ実施)</p> <p>①6月15日発信分 … 葵祭斎王代 富田 紗代さん(同志社大学)</p> <p>②7月15日発信分 … 祇園祭 大船鉦囃子方 佐々木 良輔さん(京都産業大学、京都学生祭典実行委員)</p> <p>③8月15日発信分 … 京料理萬重 若主人 田村 圭吾さん</p> <p>④9月15日発信分 … 華道「未生流笹岡」家元 笹岡 隆甫さん</p> <p>⑤10月15日発信分 … 門川市長、松坂 地域文化創生本部事務局長、喜馬 第15回京都学生祭典 実行委員長、石永 京都学生広報部 編集チーム副リーダーの4者対談</p> <p>○大学等の資源をいかす取組として、大学コンソーシアム京都と協働で実施している社会人向けの生涯学習事業である「京カレッジ」において、「京都力養成コース」や、文化力・地域力の向上を目的とする「教養力養成コース」など、京都ならではの文化芸術に関する講座を提供</p> <p>科目提供大学:30大学・2機関 提供科目数:276科目 出願者数:1,679人</p>	<p>○大学等の資源をいかす取組として、大学コンソーシアム京都と協働で実施している社会人向けの生涯学習事業である「京カレッジ」において、「京都力養成コース」や、文化力・地域力の向上を目的とする「教養力養成コース」など、京都ならではの文化芸術に関する講座を提供</p>
方向性1	暮らしの中に根付いた文化を楽しみ、継承する	○		6	<p>★学校給食における「和食」の充実に向けた取組の推進と情報発信</p> <p>「和食」の特徴を強調した献立や、和菓子、漬物など、和食の良さを伝える食材等の提供を進めるとともに、子どもたちの発達段階に応じた学校給食の充実や「食」に関する指導の充実を図り、各種媒体を使用して、和食文化や給食献立のレシピ等の情報発信を進めます。</p>	<p>○「和食推進の日」及び「和(なごみ)献立」を実施(毎月1回)</p> <p>○給食献立レシピをホームページで発信</p> <p>○和食の良さを伝える、家庭配布用献立表を配布 部数:56,073部(学級への掲示分含む)</p> <p>○PEN食器の導入(3カ年計画の3年目)</p> <p>○スチームコンベクションオープンの導入(5カ年計画の1年目)</p> <p>○子どもたちの発達段階に応じた学校給食の充実、「食」に関する指導の推進</p>	<p>○「和食推進の日」及び「和(なごみ)献立」を実施(毎月1回)</p> <p>○給食献立レシピをホームページで発信</p> <p>○和食の良さを伝える、家庭配布用献立表を配布 部数:56,656部(学級への掲示分含む)</p> <p>○スチームコンベクションオープンの導入(5カ年計画の2年目)</p> <p>○子どもたちの発達段階に応じた学校給食の充実、「食」に関する指導の推進</p>
方向性1 方向性3	暮らしの中に根付いた文化を楽しみ、継承する 文化的景観の保護と継承等 文化財を守り活用する 景観を保全し再生する	○		7	<p>★★「光」「音」「香り」などで彩られた五感で感じる京都の景観の継承と活用</p> <p>京都には、そこで暮らす人々の生活や生業、風土により創り上げられている文化的景観が多く存在しています。五感で感じるもの全てが景観を構成している要素であり、その土壌が京都の文化を育てています。</p> <p>岡崎地域が「重要文化的景観」に選定されたように、国の制度も活用しつつ、五感で感じられる京都の景観を継承し、まちづくりにいかします。</p>	<p>○京都マラソンの開催(コース周辺に7つの世界文化遺産等)</p> <p>○岡崎地域の文化的景観</p> <p>・岡崎公園、疏水・白川に関する絵本パンフレットを作成</p> <p>・ワークショップを開催</p>	<p>○京都マラソンの開催(コース周辺に7つの世界文化遺産等)</p> <p>○岡崎地域の文化的景観に係る普及啓発事業を実施</p>
方向性1	暮らしの中に根付いた文化を楽しみ、継承する			8	<p>・京の食文化ミュージアム・あじわい館を活用した京の食文化の普及・啓発</p>	<p>○ユネスコ無形文化遺産登録された和食を代表する京料理等、京の食文化を体感していただき、健全な食生活の実践につなげていただくことを目的に、「京の食文化ミュージアム・あじわい館」を設置し、市場の新鮮な食材を活かした料理教室や、食文化についての展示や講演会等を実施する。</p> <p>○食文化の情報発信事業</p>	<p>○「食文化」等をテーマにしたマンガの作成</p>
方向性1	暮らしの中に根付いた文化を楽しみ、継承する			9	<p>・子どもから大人まで、市民が京都の歴史や文化に触れ、京都の魅力を感じることができる機会の創出と発信(市民による京都の魅力再発見事業)</p>	<p>市内の世界文化遺産の寺院・神社等をはじめ、京都仏教会や京都府神社庁の協力を得て、冬休みの期間中に小学6年生が世界文化遺産を見学できる「京都再発見帖」の発行や、京阪バスと協働で親子バスツアーなどを実施し、市民に京都の魅力を再発見していただく取組を実施した。</p>	<p>・子どもから大人まで、市民が京都の歴史や文化に触れ、京都の魅力を感じることができる機会の創出と発信(市民による京都の魅力再発見事業)</p>
方向性1	暮らしの中に根付いた文化を楽しみ、継承する		○	10	<p>・小学校における生け花体験や花育活動、公共施設等での飾花を通じた花き文化の振興(◎新規)</p>	<p>○花関連産業振興のためのモデル事業実施</p> <p>○京の花物語(5月)、キッズフラワーコンテスト(7月)等</p> <p>○水道水・雨水で花いっぱい!</p>	<p>○水道水・雨水で花いっぱい!</p> <p>○「京の花」物語(花き品評会・プリザーブドフラワーコンテスト)(4月)、キッズフラワーコンテスト(9月)等</p>
方向性1	暮らしの中に根付いた文化を楽しみ、継承する			11	<p>・京都市学校歴史博物館における教育・人づくりにかけた町衆文化の継承と発信</p>	<p>○常設展・企画展(年5回)の実施</p>	<p>○常設展・企画展・特別展(年5回)の実施</p>

第2期 京都文化芸術都市創生計画					29年度実績(30年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の29年度取組予定から転記しています。	29年度末 時点の 進捗状況	30年度取組予定	
方向性	見出し	重要	新規	施策 番号				施策・事業名及び内容 (★は重要事業、・は推進施策、◎は新規事業) ※第2期計画内容
方向性1	子どもが文化芸術に触れる機会を創出し、感性を磨く	○		12	★華道、茶道、香道をはじめとする伝統的な文化芸術から現代芸術までの幅広い芸術家を小中学校等へ派遣する「ようこそアーティスト 文化芸術とくべつ授業」の実施 京都の文化芸術を支え、継承と創造をしていくためには、感性豊かな子どもの頃から、質の高い文化芸術作品にできるだけ多く、直接触れることが大切であり、引き続き、文化芸術に関わる講話や実技指導、ワークショップ等を行う「ようこそアーティスト 文化芸術とくべつ授業」を実施します。	実施済み 又は実施中	○「ようこそアーティスト 文化芸術とくべつ授業」を50箇所で開催予定。平成30年度は茶道・華道等の講義数を更に充実して実施する。 ○引き続き、和装、古典文学、日本舞踊、茶道といった伝統文化に係る様々な分野の専門家を学校に派遣し、子どもたちが日本の心を伝える伝統文化や古典に親しみ、その振興に資する取組の充実を図る	
方向性1	子どもが文化芸術に触れる機会を創出し、感性を磨く	○		13	★「ほんもの」の魅力が伝わる場所での公演に触れる機会の創出 「ようこそアーティスト 文化芸術とくべつ授業」の体験等を踏まえ、「ほんもの」の魅力が伝わる場所、伝統的な和の空間(能楽堂、寺院、神社等)で、子どもたちが伝統的な文化芸術の公演を鑑賞する機会を創出します。 また、美術館やコンサートホール、劇場等の場所での子どもたちへの鑑賞機会の提供を推進します。	実施済み 又は実施中	○「ようこそ和の空間 伝統公演とくべつ授業」を平成31年2月に実施予定。平成30年度は、これまでの成果を踏まえ、公演数を1日2公演から2日4公演に充実して実施する。 ○あけてみよう!“音楽のトビラ”を実施(京都コンサートホール) ○幼児のためのポジティブオルガンの体験講座を実施(京都コンサートホール) ○“京都をつなぐ無形文化遺産” ・小学生対象「京おどり」 ○“暮らしの文化はくぐり事業” ・「親子で体験！京の伝統芸能」の実施	
方向性1	子どもが文化芸術に触れる機会を創出し、感性を磨く			14	・子どもたちがものづくり文化に触れる機会の創出	実施済み 又は実施中	○京都モノづくりの殿堂・工房学習…市立小学校159校(153回)と総合支援学校4校(4回)、計163校(157回)10,075名が参加。 ○殿堂の一般公開…延べ2,813名が来館。 ○京少年少女モノづくり倶楽部…ホームページを開設。1,935件の会員登録・173団体558件の講座情報を発信。 ○第12回「至高の動くおもちゃづくり」トイ・コンテスト グランプリ…小学校3～6年生98校568名が参加。	○京都モノづくりの殿堂・工房学習…市立小学校159校(153回)と総合支援学校4校(4回)、計163校(157回)10,203名が参加予定。 ○殿堂の一般公開…延べ約2,500名が来館予定。 ○京少年少女モノづくり倶楽部…更なる登録会員数及び講座数の拡充。 ○第13回「至高の動くおもちゃづくり」トイ・コンテスト グランプリ…小学校3～6年生約500名が参加予定。
方向性1	子どもが文化芸術に触れる機会を創出し、感性を磨く			15	・京都市内の小中学校に伝統産業職人を派遣し、生徒が匠の技に触れる、制作体験・実演教室の実施	実施済み 又は実施中	○小・中学校への派遣を実施し、伝統産業の実演や体験事業の実施	○小・中学校への派遣を実施し、伝統産業の実演や体験事業の実施
方向性1	子どもが文化芸術に触れる機会を創出し、感性を磨く			16	・文化芸術団体との連携による子どものための各種芸術体験教室等の実施	実施済み 又は実施中	○夏休み芸術体験教室(7～8月)、冬休み芸術体験教室(1月)を実施 ○市民狂言会夏休み特別編を実施 ○京都国際舞台芸術祭2017で子ども向け企画として、地元の小学生がフェスティバルの公式審査員を務めるプログラム「The Children's Choice Awards」実施(11/5) ○こどものためのオーケストラ入門コンサート「オーケストラ・ディスカバリー2017」を実施(6/18,8/27,11/12,3/25 4事業4公演 6,185名) ○ロームシアター京都事業として、ファミリー向け事業「プレイ！シアターin Summer」を実施(8/7～10,12～13 4,800名) ○ロームシアター京都事業として、小学生を対象としたオペラ公演「子どものためオペラ」を開催(3/13 2公演 2,920名)	○夏休み芸術体験教室(7～8月)、冬休み芸術体験教室(1月)を実施 ○市民狂言会夏休み特別編を実施予定 ○こどものためのオーケストラ入門コンサート「オーケストラ・ディスカバリー2018」を実施 ○ロームシアター京都事業として、ファミリー向け事業「プレイ！シアターin Summer」を実施 ○ロームシアター京都事業として、小学生を対象としたオペラ公演「子どものためオペラ」を開催 ○文化会館5館連携事業として、「みんなで遊ぼう！親子コンサート」を開催
方向性1	子どもが文化芸術に触れる機会を創出し、感性を磨く			17	・体験によって興味を持った子どもたちが継続的に伝統的な文化芸術を学ぶための教室の活用		○事業内容の検討	○事業内容の検討
方向性1	子どもが文化芸術に触れる機会を創出し、感性を磨く			18	・「みやこ子ども土曜塾」など親子と一緒に文化芸術を体験できるプログラムの実施	実施済み 又は実施中	○市民ぐるみによる京都ならではの様々な体験活動の場を提供するため、広報紙「京都はくぐり通信/GoGo土曜塾」及びホームページにより情報発信。29度から、小・中学生のいる各家庭に加え、保育園や幼稚園など未就学児の家庭の保護者にも配付先を拡大し、より多くの親子に対して文化芸術を体験できるプログラムを周知。(年6回、各17万部発行)	○市民ぐるみによる京都ならではの様々な体験活動の場を提供するため、広報紙「京都はくぐり通信/GoGo土曜塾」及びホームページにより、引き続き情報発信をする。

第2期 京都文化芸術都市創生計画					29年度実績(30年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の29年度取組予定から転記しています。	29年度末 時点の 進捗状況	30年度取組予定
方向性	見出し	重要	新規	施策 番号	施策・事業名及び内容 (★は重要事業、・は推進施策、◎は新規事業) ※第2期計画内容		
方向性1	子どもが文化芸術に触れる機会を創出し、感性を磨く			19	・芸術系高校をはじめ市立高等学校等における特色ある文化芸術教育や文化体験活動の推進 ○銅駝美術工芸高校「第1回所蔵作品展」を御池ギャラリーで実施(7月) ○銅駝美術工芸高校「美工作品展」を京都市美術館別館・日図デザイン博物館で実施(10月) ○京都堀川音楽高校「オーケストラ定期演奏会」を京都コンサートホールで実施(7月) ○京都堀川音楽高校と城異地域との共催による「城異音楽フェスティバル」を実施(10月) ○【全市立高校】 「茶道を中心としたおもてなし事業」による茶道体験。 座禅体験会(7月)、能楽体験会(11月) 以下、その他の主な取組予定 【堀川高校】 祇園祭の山鉾巡行等のボランティア参加(7月) 【日吉ヶ丘高校】 能楽体験(6月)座禅体験(7月)英語で合気道体験、茶道体験(2月) 【京都堀川音楽】 雅楽や能楽など、外部講師の招聘や演奏体験を含む邦楽教育の充実(6月) 【西京高校】 能楽交流鑑賞会(12月) 【銅駝美術工芸高校】 浴衣の着付け体験(6月) 【紫野高校】 今宮神社の今宮祭「還幸祭」ボランティア参加(5月) オーストラリア短期留学生と日本舞踊体験交流授業の実施	実施済み 又は実施 中	○銅駝美術工芸高校「第2回所蔵作品展」を御池ギャラリーで実施(7月) ○銅駝美術工芸高校「美工作品展」を日図デザイン博物館・御池ギャラリーで実施(10月) ○京都堀川音楽高校「オーケストラ定期演奏会」を京都コンサートホールで実施(7月) ○京都堀川音楽高校と城異地域との共催による「城異音楽フェスティバル」を実施(10月) ○【全市立高校】 「茶道を中心としたおもてなし事業」による茶道体験。 座禅体験会(7月)、能楽体験会(11月) 以下、その他の主な取組予定 【堀川高校】 祇園祭の山鉾巡行等のボランティア参加(7月) 【日吉ヶ丘高校】 座禅体験(9月)英語で合気道体験、茶道体験(2月) 【京都堀川音楽高校】 外部講師の招聘や演奏体験を含む邦楽教育の充実(6月) 【西京高校】 能楽交流鑑賞会(12月) 【銅駝美術工芸高校】 浴衣の着付け体験(6月) 【紫野高校】 今宮神社の今宮祭「還幸祭」ボランティア参加(5月)
方向性1	子どもが文化芸術に触れる機会を創出し、感性を磨く			20	・「歴史都市・京都から学ぶジュニア京都検定」や「中高生」による「京都・観光文化検定試験3級」チャレンジ事業の推進 ○「歴史都市・京都から学ぶジュニア京都検定」に係る取組 基礎・発展コースを10月に実施。約21,000名が受検 名人コース応募者から名人を認定 ○市内在住・在学の中学生及び高校生に京都商工会議所主催「京都・観光文化検定試験3級」の受験機会を提供(12月)。	実施済み 又は実施 中	○「歴史都市・京都から学ぶジュニア京都検定」に係る取組 基礎・発展コースを10～11月に実施予定。(約21,000名が受検予定) 名人コース応募者から名人を認定 ○市内在住・在学の中学生及び高校生に京都商工会議所主催「京都・観光文化検定試験3級」の受験機会を提供(12月)。
方向性1	子どもが文化芸術に触れる機会を創出し、感性を磨く			21	・京都市ジュニアオーケストラ・京都市少年合唱団の運営や地域文化会館における教育プログラムの実施等、子どもの音楽文化の振興・普及を図る取組の推進 ○京都市ジュニアオーケストラ ・10歳から22歳までの京都市在住・通学の青少年を対象に、オーディションにより選ばれた106名により構成。年間を通じて練習し、第13回京都市ジュニアオーケストラコンサートを開催(3/4 1,534名) ○京都市少年合唱団の運営 ・小学4年生から中学3年生まで200名を超える団員が在籍し、毎週土曜日に練習を実施。創立60周年記念演奏会の開催のほか、様々な演奏会への出演や病院訪問演奏を実施 ○小学生のための音楽鑑賞教室 ・1/29～31、2/1～2に実施。11,696人が鑑賞。 ○ロームシアター京都平成29年度の自主事業として、小学生を対象としたオペラ公演「子どものためのオペラ」を開催(再掲)(3/13 2公演 2,920名) ○市立芸大での取組 ・西文化会館で、地域の方をはじめとする市民の皆様気軽に足を運んでいただける無料コンサートを開催(6/3 325名、12/2 215名) ・京都市北文化会館を会場に、毎回一つの専攻がプロデュースするコンサートを開催(11月管・打楽専攻140名、2月作曲専攻110名) ・桂坂小学校にてカザラッカコンサートを開催し、楽器の紹介・演奏・指揮者体験を実施(9月) ・京都市立西総合支援学校の生徒を招待し、声楽専攻による歌唱を披露(7月) ○地域文化会館での取組 ・各文化会館のパートナー団体による、子どもたちへの「教育プログラム(ワークショップ等)」を実施(東部文化会館6/24 40名、7/31～10/28 103名、10/7 35名、2/24 35名、3/11 676名、呉竹文化センター7/6 500名、1/7 115名、右京ふれあい文化会館7/7 200名、7/23 120名、8/20 287名、11/26 150名、西文化会館ウエスティ8/30 101名、10/1 342名、北文化会館11/26 160名、2/11 350名)	実施済み 又は実施 中	○京都市ジュニアオーケストラ ・10歳から22歳までの京都市在住・通学の青少年を対象に、オーディションにより選ばれた106名により構成。年間を通じて練習し、1月に第14回京都市ジュニアオーケストラコンサートを開催 ○京都市少年合唱団の運営 ・小学4年生から中学3年生まで200名を超える団員が在籍し、毎週土曜日に練習を実施。第69回定期演奏会の開催のほか、様々な演奏会への出演や病院訪問演奏を実施予定 ○小学生のための音楽鑑賞教室 ・1/28～31、2/1に実施 ○ロームシアター京都平成30年度の自主事業として、小学生を対象としたオペラ公演「子どものためのオペラ」を開催 ○市立芸大での取組 ・西文化会館で、地域の方をはじめとする市民の皆様気軽に足を運んでいただける無料コンサートを開催(6月、12月) ・京都市北文化会館を会場に、毎回一つの専攻がプロデュースするコンサートを開催(11月、2月) ・桂坂小学校にてカザラッカコンサートを開催し、楽器の紹介・演奏・指揮者体験を実施(9月) ・京都市立西総合支援学校の生徒を招待し、親しみやすい管弦楽の楽曲を披露(7月) ○地域文化会館での取組 ・各文化会館のパートナー団体による、子どもたちへの「教育プログラム(ワークショップ等)」を実施(7月～31年3月)

第2期 京都文化芸術都市創生計画					29年度実績(30年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の29年度取組予定から転記しています。	29年度末 時点の 進捗状況	30年度取組予定
方向性	見出し	重要	新規	施策 番号			
方向性1	子どもが文化芸術に触れる機会を創出し、感性を磨く			22	・地域の文化団体等が子どもたちに民俗芸能や、邦楽、邦舞等の伝統的な文化芸術を体験、習得させ、次代に継承するための取組の促進	○伝統文化親子教室を実施(実施団体数44団体)	○伝統文化親子教室事業では、特に小学校と連携した教室と、地域の伝統文化を対象とした教室の実施数の充実を図り、60団体の教室を実施する。内訳は、民俗芸能9、祭り行事3、和太鼓1、能楽3、邦楽4、邦舞2、伝統工芸2、百人一首4、囲碁1、将棋8、華道10、茶道15、書道1、和装5、その他3である。
方向性1	子どもが文化芸術に触れる機会を創出し、感性を磨く			23	・「京都・和の文化体験の日」の実施など若者を対象とした伝統的な文化芸術や伝統産業に触れる機会の創出	○「京都・和の文化体験の日」の実施(歌舞伎)(11月～12月) ・「はじめまして歌舞伎」の開催 参加者233名 ・ワークショップの開催 参加者34名 ・情報冊子の配布	○「京都・和の文化体験の日」の実施(冬季)
方向性1	子どもが文化芸術に触れる機会を創出し、感性を磨く			24	・青少年活動センターにおける新たな若者文化の創造と市民との相互交流を促進する事業の実施	○東山青少年活動センター事業 ・演劇ビギナーズユニット 29年5月～9月、全92回実施。参加者数18名、のべ参加者数2,543名(自主練習を含む)修了公演入場者数314名。 ・ダンススタディーズ1 29年11月～30年3月、全49回実施。参加者数11名、延べ人数444名(自主練習を含む)修了公演入場者数135名	○東山青少年活動センター事業 ・演劇ビギナーズユニット(30年5～9月実施予定。9月1、2日修了公演予定) ・ダンススタディーズ(30年11月～31年2月実施予定。2月下旬修了公演予定)
方向性1	子どもが文化芸術に触れる機会を創出し、感性を磨く			25	・京都市キャンパス文化パートナーズ制度の推進	○キャンパス文化パートナーズ制度を引き続き実施(平成29年度末時点 49大学 2万人登録)	○キャンパス文化パートナーズ制度を引き続き実施
方向性1	子どもが文化芸術に触れる機会を創出し、感性を磨く			26	・「近くて楽しい動物園」の実現に向けた京都市動物園の取組の推進	○昨年に引き続き、イベントの充実 ・第6回ヤマネコ博覧会を10月14、15日に実施(参加者数:計926人) ・守れ！イチモンジタナゴプロジェクトを全6回連続講座で実施(参加者数:計116名(定数25名/回)) ○経年劣化に伴う修繕のための修繕計画の策定や日よけ設備の設置	○昨年に引き続き、イベントの充実 ・ヤマネコ博覧会を実施 ・守れ！イチモンジタナゴプロジェクトを実施 ○経年劣化に伴う日よけ設備の設置
方向性1	市民が文化芸術に親しむ	○		27	★公共空間や公共交通機関を活用した文化芸術の発信 地下鉄駅構内での作品展示やバス、電車の芸術的な装飾、イベントの広告等、公共空間や公共交通機関を活用して、幅広い市民の方々に文化芸術に親しんでいただく機会を増やします。	○地下鉄駅構内において、文化芸術事業を実施 ○「KYOTO駅ナカアートプロジェクト2018」の実施 30年3～5月の間、京都市内の芸術系大学が地下鉄駅構内及び市バス車両に作品を展示 ○地下鉄駅構内におけるサブウェイ・パフォーマー事業 ○「第7回キングオブパフォーマー決勝戦」を開催(5月) ○「京の七夕」に合わせて、地下鉄二条城前駅の駅構内において市立大学生が制作した立体造形作品を展示(23年7月から常設展示。毎年入替予定) ○地下鉄北山駅に、京都コンサートホール等へ向かわれる方の高揚感を創出するため、市立大学の学生が制作した立体造形作品を展示(22年9月から常設展示。毎年入替予定) ○地下鉄駅構内におけるサブウェイ・パフォーマー事業 ○「第8回キングオブパフォーマー決勝戦」を開催(5月) ○「ニュー・ブランシュ KYOTO」事業の一環として、地下鉄山科駅前「音の広場」においてサブウェイ・パフォーマーによる演奏を実施 ○市バスにおけるアート事業 ○西陣織工業組合の「西陣と呼ばれて550年」記念事業の取組の一環として、京都精華大学生が西陣織をモチーフにして行ったデザインを、外装や車内に施したアート車両「NISHIJIN BUS」を運行 ○京都の伝統文化である京友禅染のきもののイメージを基調に、車体に大胆なデザイン手摺文様を配した車体デザインのバスを観光系統「洛バス」(100、101、102号系統)で運行(平成26年3月から現行デザインに変更) ○「チーム『電車・バスに乗るっ!』」の参画団体である京都国立博物館らとの連携により京都の文化振興を目的として、国宝作品をあしらったラッピングバスを運行 (俵輪宗達筆「風神雷神図屏風」、長谷川久蔵筆「桜楓図」のうち「桜図」)	○地下鉄駅構内において、文化芸術事業を実施 ○「KYOTO駅ナカアートプロジェクト2018」の実施 30年3～5月の間、京都市内の芸術系大学が地下鉄駅構内及び市バス車両に作品を展示 ○「京の七夕」に合わせて、地下鉄二条城前駅の駅構内において市立大学生が制作した立体造形作品を展示(23年7月から常設展示。毎年入替予定) ○地下鉄北山駅に、京都コンサートホール等へ向かわれる方の高揚感を創出するため、市立大学の学生が制作した立体造形作品を展示(22年9月から常設展示。毎年入替予定) ○地下鉄駅構内におけるサブウェイ・パフォーマー事業 ○「第8回キングオブパフォーマー決勝戦」を開催(5月) ○「ニュー・ブランシュ KYOTO」事業の一環として、地下鉄山科駅前「音の広場」においてサブウェイ・パフォーマーによる演奏を実施予定 ○市バスにおけるアート事業 ・「明治150年」を記念し、京都美術工芸大学生がバス車両(1両)に、明治時代のファッションと交通をモチーフにしたデザインを施したアート車両を運行 京都市立鋼鉄美術工芸高等学校と連携して京都の伝統文化を発信するアート作品を制作し、観光系統「洛バス」車内広告スペースに掲出 ・西陣織工業組合の「西陣と呼ばれて550年」記念事業の取組の一環として、京都精華大学生が西陣織をモチーフにして行ったデザインや西陣織を、外装や車内に施したアート車両「NISHIJIN BUS」を運行(平成29年度から運行)

第2期 京都文化芸術都市創生計画					29年度実績(30年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の29年度取組予定から転記しています。	29年度末 時点の 進捗状況	30年度取組予定	
方向性	見出し	重要	新規	施策 番号	施策・事業名及び内容 (★は重要事業、・は推進施策、◎は新規事業) ※第2期計画内容			
方向性1	市民が文化芸術に親しむ	○		28	<p>★市民に周知・啓発するツール、証明書等における文化芸術の活用 市民に分かりやすく情報を提供し、興味を持って理解を深めてもらうために、消費者への注意喚起のツールとして落語を用いるなど、文化芸術の力を活用します。 また、戸籍や住民票等の各種証明書に使用している偽造防止用紙に、文化的意匠を印刷することで、京都の文化芸術に親しんでいただくための機会を増やします。</p>	<p>○(地域自治)検討中 偽造防止用紙への文化的意匠の印刷については課題が多く、短期的な実現は困難なことから、窓口封筒等での活用を検討した。</p> <p>○(消費) ・「塩鯛さん・吉弥さんと一緒に落語で考えよう! 消費者問題」の開催(1月 参加者数616名) ・「狂言を取り入れた消費者啓発イベント～消費者問題を狂言で考えよう～」の開催(3月 参加者数364名)</p> <p>○(人権) ・ヒューマンステージ・イン・キョウトの開催(著名人によるコンサートやトーク等を中心とした人権啓発イベントを開催) 日時 平成30年1月27日(土) 場所 ロームシアター京都 サウスホール 内容 テーマ「興味・関心をもつことに国境はない」 マーティ・フリードマン氏 トーク&ライブ 全国中学生人権作文コンテスト京都大会 入賞作品朗読 四字熟語人権マンガ 入賞作品紹介クロストーク 人権擁護委員活動紹介 ほか</p> <p>参加者 512名 ・四字熟語人権マンガの募集(「人権」を四字熟語等とマンガで表現した作品を募集・発信) 募集期間 平成29年6月30日(金)～10月13日(金) 応募点数 374点 入賞作品の展示 ・京都国際マンガミュージアム 平成30年2月6日(火)～20日(火) ・漢字ミュージアム 平成30年3月13日(火)～4月15日(日)</p>	実施済み 又は実施中	<p>○(地域) 「明治150周年」のロゴを掲載した窓口封筒を全区で使用する。</p> <p>○(消費) 平成29年度に引き続き落語を採り入れた消費者啓発事業を行う。(平成30年10月予定)</p> <p>○(人権) ・ヒューマンステージ・イン・キョウトの開催(著名人によるコンサートやトーク等を中心とした人権啓発イベントを開催) ・四字熟語人権マンガの募集(「人権」を四字熟語等とマンガで表現した作品を募集・発信)</p>
方向性1	市民が文化芸術に親しむ	○	○	29	<p>★福祉施設に芸術家を派遣する等、社会的に困難を抱えている人々に対して、文化芸術の力を活用して社会参加の機会を充実する「社会包摂」の取組の推進(◎新規) 文化芸術は、人の心を豊かにし、他者と共感し、社会的なつながりを生み出し、社会課題の解決につなげる力があります。社会的に困難を抱えている人が、文化芸術の力で潜在能力を発揮し、社会とつながること、あらゆる人がストレスなく文化芸術に親しむことなど、「社会包摂」には様々な効果が期待されています。 具体的な「社会包摂」の取組として、社会的に困難を抱えている人々に、文化芸術に触れてもらう機会を拡充することで、社会参加の機会を増やし、その困難の緩和・解決につなげることができるよう、病院、福祉施設等に芸術家を派遣します。</p>	<p>○文化芸術の力により、社会的困難を抱えた方も含めた様々な人々の社会参加を促進するため、3つのモデル事業(子どもプロジェクト/LGBTプロジェクト/多文化共生プロジェクト)及び市内外の先行事例調査を実施。モデル事業の効果や事例調査結果を踏まえ、今後の本格的な事業展開について検討を行った。</p> <p>○DV対策事業(被害者が安心して集える場づくり。1月に初釜交流会を実施)</p> <p>○ほほえみ広場 ○ニート、ひきこもり、不登校などの社会生活を円滑に営むうえでの困難を有する子ども・若者への支援の実施(支援コーディネーターによる支援件数:102ケース) ○若者の職業的自立を支援する「京都若者サポートステーション」の取組の実施(職業ふれあい事業等 実施回数:279回、参加者数:1,174名)</p>	一部を除き、実施済み又は実施中	<p>○29年度に実施した、モデル事業及び先行事例の調査の成果を踏まえ、文化芸術の力による社会的課題の解決に向け、文化芸術と社会課題をつなぐコーディネーターの育成や、相談先窓口の在り方などの企画、準備を行い、平成31年度以降の本格的な事業展開につなげる。</p> <p>○アウトリーチ事業:地域文化会館5館で、市民の文化芸術活動の活性化や地域の文化芸術の振興を目的として、地域文化会館に登録している文化芸術活動団体が地域の各団体、学校、福祉施設などからの依頼によりミニコンサートやワークショップ等を実施</p> <p>○DV対策事業(被害者が安心して集える場づくり。1月に初釜交流会を予定)</p> <p>○ほほえみ広場 ○「障害者芸術」の活性化を契機とした新たな文化芸術の魅力発信として、障害のある方の文化芸術に触れ、創造する機会の創出及び障害者アート作品展の開催に取り組む。</p> <p>○ニート、ひきこもり、不登校などの社会生活を円滑に営むうえでの困難を有する子ども・若者への支援の推進</p> <p>○若者の職業的自立を支援する「京都若者サポートステーション」の取組の推進</p>
方向性1	市民が文化芸術に親しむ	○		30	<p>★文化芸術を通じた活力ある地域社会「健康長寿のまち・京都」の実現 市民一人ひとりがライフステージや状況に応じた健康づくりに取り組み、文化芸術に触れる生活を通じ、生きがいを実感しながら、いつまでも地域の支え手として活躍できる、活力ある地域社会「健康長寿のまち・京都」の実現を目指します。</p>	<p>○「いきいきポイント」事業を実施したほか、平成30年1月から「いきいきアプリ」の運用を開始した。</p> <p>○各区・支所保健福祉センターにおいて、各区・支所の課題や市民ニーズに応じた地域における健康づくり事業を実施し、主体的な健康づくり活動を支援した。</p> <p>○京都の文化遺産をめぐるスタンプラリー機能を備えたスマートフォンアプリ「京都遺産めぐり」を配信した。</p> <p>○伝統文化親子体験教室事業を実施することで、伝統文化に関する活動を、計画的・継続的に体験・修得できる機会を提供した。</p> <p>○京都ツーデーウォーク(寺社仏閣等の文化財をはじめ、歩いて楽しいまち・京都を発信)</p>	実施済み 又は実施中	<p>○健康づくりの輪を広げるため、文化の視点を盛り込んだ「京都らしい健康づくりの代表例」を様々な場所や機会において配布する。</p> <p>○「いきいきポイント」「いきいきアプリ」の活用により、健康づくりの機会を創出する。</p> <p>○各区・支所保健福祉センターにおいて、各区・支所の課題や市民ニーズに応じた地域における健康づくり事業を実施し、主体的な健康づくり活動を支援する。</p> <p>○京都の文化遺産をめぐるスタンプラリー機能を備えたスマートフォンアプリ「京都遺産めぐり」を活用し、市民の方に衣食住、地域の絆など暮らしの中に息づく京都ならではの文化を大切に生活する中で健康づくりに取り組んでいただく。</p> <p>○伝統文化親子体験教室事業を実施することで、伝統文化に関する活動を、計画的・継続的に体験・修得できる機会を提供する。</p> <p>○京都ツーデーウォーク(寺社仏閣等の文化財をはじめ、歩いて楽しいまち・京都を発信)</p>

第2期 京都文化芸術都市創生計画					29年度実績(30年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の29年度取組予定から転記しています。	29年度末 時点の 進捗状況	30年度取組予定
方向性	見出し	重要	新規	施策 番号	施策・事業名及び内容 (★は重要事業、・は推進施策、◎は新規事業) ※第2期計画内容		
方向性1	市民が文化芸術に親しむ	○		31	<p>★NPO法人「障害者芸術推進研究機構」との協働による障害のある方の文化芸術活動支援 NPO法人「障害者芸術推進研究機構」との協働の下、障害のある方の文化芸術活動を支援し、様々な取組について地域・市民に対し発信していきます。</p>	<p>○天才アート展2017及び企画展「非形態の表象」、「endless breath～終わらない表出、一瞬一瞬の息づかい～」の共催 ○障害のある方の芸術活動の普及・啓発のためのシンポジウムの開催 ○障害者芸術推進研究機構と連携し、総合支援学校生徒・卒業生の創作活動を推進するためのサークル活動を実施</p>	<p>○天才アート展2018及び企画展「土屋彰男と大柳憲一、2人のコンポジション」の共催 ○障害のある方の芸術活動の普及・啓発のためのシンポジウムの開催 ○障害者芸術推進研究機構と連携し、総合支援学校生徒・卒業生の創作活動を推進するためのサークル活動を実施</p>
方向性1	市民が文化芸術に親しむ			32	<p>・本市の文化芸術関係施設における、各施設の特徴をいかした各種文化事業の推進</p>	<p>○京都市美術館において市民美術講座やワークショップ等を開催 ○京都市内4館連携協力協議会「京都ミュージアムズ・フォー」でスタンプラリーや相互割引、4館連携講座を開催 ・4館連携講座「日展の流れと京都の美術～京都市美術館コレクションを中心に～」 開催時期:1月 ○京都芸術センター ・「みみききプログラム」など、各種事業を実施 ○京都コンサートホール ・京都のクラシック音楽の拠点として、海外の著名なオーケストラ公演をはじめ、国内外の著名な演奏家や京都にゆかりのある演奏家が出演する「第21回京都の秋 音楽祭」を開催(9～11月に23公演を実施。入場者数21,657名) ・市民がより気軽に音楽を楽しめる、ワンコイン(500円)の演奏会の開催や、チケット割引制度(シニア割引、学生割引)を運営。主催公演を対象に実施(対象外公演もあり) ○地域文化会館 ・呉竹文化センター、北文化会館で映画「湯を沸かすほどの熱い愛」を上映(呉竹文化センター5/3 306名、北文化会館5/4 522名) ・全館で「みんなで遊ぼう！親子でコンサート」を実施(北文化会館9/9 276名、右京ふれあい文化会館9/16 236名、呉竹文化センター9/18 304名、東部文化会館9/23 189名、西文化会館ウエスティ9/30 222名) ○市民活動総合センター及びいきいき市民活動センターにおける文化・芸術をテーマにしたイベント開催等 ・寄付文化醸成のイベント「市縁堂」において、文化・芸術活動を行う団体のプレゼンテーション等を実施(市民活動総合センター、12月) ・地域交流のための盆踊り大会等の開催(いきいき市民活動センター) ○人権資料展示施設を拠点とした人権文化の発信(ツラッティ千本、柳原銀行記念資料館の運営) ①ツラッティ千本 常設展 来館者数 4,693人(特別展及び企画展の来館者数を含む。) 特別展 開催期間 平成29年10月3日～31日 テーマ 千本今昔物語～写真でたどる、まちづくりの歩み～ 来館者数 562人 企画展 開催期間 平成30年3月6日～31日 テーマ 託児所設置から100年へ～保育のいま、子どもの未来を考える～ 来館者数 251人 ②柳原銀行記念資料館 常設展 来館者数 3,820人(特別展及び企画展の来館者数を含む。) 特別展 開催期間 平成29年9月1日～10月29日 テーマ 我ら、山水河原者の末裔なり～芸大移転に寄せて～ 来館者数 904人</p>	<p>○京都市美術館において市民美術講座やワークショップ等を開催 ○京都市内4館連携協力協議会「京都ミュージアムズ・フォー」でスタンプラリーや相互割引、4館連携講座を開催 ・4館連携講座「明治から平成まで 京都を彩った日展111年の名作・話題作」 開催時期:1月 ○京都芸術センター ・「みみききプログラム」など、各種事業を実施 ○京都コンサートホール ・京都のクラシック音楽の拠点として、海外の著名なオーケストラ公演をはじめ、国内外の著名な演奏家や京都にゆかりのある演奏家が出演する「第22回京都の秋 音楽祭」を開催(9～11月に22公演を実施予定。) ・市民がより気軽に音楽を楽しめる、ワンコイン(500円)の演奏会の開催や、チケット割引制度(シニア割引、学生割引、U-30割引)を運営。主催公演を対象に実施(対象外公演もあり) ○地域文化会館 ・呉竹文化センター、北文化会館で映画「ナミヤ雑貨店の奇蹟」を上映(5月) ・全館で「みんなで遊ぼう！親子でコンサート(仮称)」を実施(9月～10月) ○引き続き、市民活動総合センター及びいきいき市民活動センターにおいて、文化・芸術をテーマにしたイベント開催等を行う。 ○人権資料展示施設を拠点とした人権文化の発信(ツラッティ千本、柳原銀行記念資料館の運営)</p>

第2期 京都文化芸術都市創生計画					29年度実績(30年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の29年度取組予定から転記しています。	29年度末 時点の 進捗状況	30年度取組予定	
方向性	見出し	重要	新規	施策 番号	施策・事業名及び内容 (★は重要事業、・は推進施策、◎は新規事業) ※第2期計画内容			
方向性1	市民が文化芸術に親しむ			33	・京都市生涯学習総合センターを活用したセミナー、コンサートの実施等による文化芸術に関する生涯学習の推進	実施済み 又は実施 中	○生涯学習ポータルサイトの充実 ・29年度のアクセス数:174,442件 ○モバイル版生涯学習情報検索サイトを継続的に運用 ○より質の高い生涯学習事業の推進 ○司書の専門性を活かし、図書館でのサービスに必要と考える資料を選び取り揃えるだけでなく、全館で導入する予約・リクエスト制度により、利用者のニーズに直接応え、図書館全体の資料充実にも継続して努めた結果、29年度も約177万件の予約が寄せられ、システム更新による休館の影響はほぼ見られなかった。 ○5年に1度行われる図書館システムの更新により、新たに返却期限お知らせサービスなどの機能が加わったほか、アクセシビリティを意識した新図書館ホームページを構築、初日は従来ホームページの約16倍のアクセスを記録した。 ○継続運用している、3箇所の地下鉄駅返却ポストに加えて、阪急烏丸駅にも新たに返却ポストを導入し、更なる利便性の向上にも努めた。 ○各種講座等(ゴールデン・エイジ・アカデミー、アスニー・アトリエ、セミナー、コンサートを含む。)の充実 ・京都アスニーにおいて、「ゴールデン・エイジ・アカデミー」、「セミナー」、「アトリエ」、「シネマ」、「コンサート」等の事業を随時実施 ・「古典の日記念 平安京創生館」における「企画展」の実施、「英語解説パネル」の設置(7月)、案内ボランティア「英語研修」の実施(9月)、「ヤマシロ・平安京オーバーレイマップ」の運用開始(10月) ・「古典の祭典2017」関連事業の実施(10月・11月) ・ICOM京都大会2019を見据えた「京都ヒストリカルロード」マップの作成(9月)、活用講座の実施(12月) ・バリアフリー映画会(第3回ユニバーサル上映)の実施(2月) ・「京都洛北松上げ行事と広河原のヤッサコサイ」(京都学講座)の共催実施(2月) ・「アスニー文化祭」の開催(3月) ・「古典の日記念 平安京創生館」に平安京復元模型(平安建都1200年を記念して製作)を完全展示し、リニューアルオープンを果たす(3月)	○生涯学習ポータルサイトの充実 ○モバイル版生涯学習情報検索サイトを継続的に運用 ○より質の高い生涯学習事業の推進 ○各種講座等(ゴールデン・エイジ・アカデミー、アスニー・アトリエ、セミナー、コンサートを含む。)の充実 ・京都アスニーにおいて、「ゴールデン・エイジ・アカデミー」、「セミナー」、「アトリエ」、「シネマ」、「コンサート」等の事業を随時実施 ・「古典の日記念 平安京創生館」における「企画展」の実施、「英語解説パネル」の設置(7月)、案内ボランティア「英語研修」の実施(9月)、「ヤマシロ・平安京オーバーレイマップ」の運用開始(10月) ・「古典の祭典2018」関連事業の実施(10月・11月) ・ICOM京都大会2019を見据えた「京都ヒストリカルロード 明治編」マップの作成、活用 ・バリアフリー映画会(第3回ユニバーサル上映)の実施(2月) ・「京都学講座」の公益財団法人京都市文化観光資源保護財団との共催実施(2月) ・「アスニー文化祭」の開催(3月) ○図書館の充実ならびに、府下図書館窓口や駅等での返却システムの構築により、利便性の向上を図るとともに、一層身近な図書館づくりに努める。
方向性1	市民が文化芸術に親しむ			34	・京都市芸術文化協会、京都市音楽芸術文化振興財団等の文化芸術団体と連携した鑑賞・参加型事業の推進	実施済み 又は実施 中	○いけばなプレゼンテーション(6月)、京都ビッグ・バンド・フェスティバル(1月)等を実施	○いけばなプレゼンテーション(6月)、京都ビッグ・バンド・フェスティバル(2月)等を実施
方向性1	市民が文化芸術に親しむ			35	・「文化芸術都市・京都が世界に誇るオーケストラとしてより市民に愛される京響」を目指す取組の推進	実施済み 又は実施 中	○演奏会の開催 ・第611回～621回定期演奏会(4月～3月) 延べ入場者数:22,871人 ・市内文化会館等を会場とする「みんなのコンサート」 全6公演(7月～8月) 延べ入場者数:2,372人 ・こどものためのオーケストラ入門「オーケストラディスカバー」 全4公演(6月、8月、11月、3月) 延べ入場者数:6,185人 ・「第九コンサート」や「ニューイヤーコンサート」などの特別演奏会 全9公演(4月、7月、9月、11月、12月、1月、3月) 延べ入場者数:12,334人 など、年間102公演(うち市内78公演、市外24公演)を開催 ○練習風景公開の実施(毎月1回、定員50名) ○楽員による楽器講習会の実施(5、6月に開催) ○福祉施設等への訪問演奏活動(5月、6月、3月に実施)	○演奏会の開催 ・第622回～632回定期演奏会(4月～3月) ・みんなのコンサート(7月、8月) ・オーケストラディスカバー(7月、9月、12月、3月) ・特別演奏会(市外公演を含む) ○練習風景公開の実施(毎月1回、定員50名) ○楽員による楽器講習会の実施(6月、10月に開催) ○福祉施設等への訪問演奏活動(4月、5月に実施)
方向性1	市民が文化芸術に親しむ			36	・文化芸術施策や施設における「ユニバーサルデザイン」の推進	実施済み 又は実施 中	○ヒアリングループの設置(平成27年7月～)(京都コンサートホール、文化会館等) ○みやこユニバーサルデザイン上映補助(20年度～、29年度:10件補助)	○ヒアリングループの設置 ○みやこユニバーサルデザイン上映補助 ○文化芸術に係る「ユニバーサルデザイン」についての ・市民、事業者への啓発 ・市民、事業者等の取組やアイデアの評価及び支援 ・学校における学習の普及促進 ・庁内における取組の推進

第2期 京都文化芸術都市創生計画					29年度実績(30年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の29年度取組予定から転記しています。	29年度末 時点の 進捗状況	30年度取組予定
方向性	見出し	重要	新規	施策 番号	施策・事業名及び内容 (★は重要事業、・は推進施策、◎は新規事業) ※第2期計画内容		
方向性1	市民が文化芸術に親しむ			37	<p>・京都の文化芸術活動に刺激を与え市民に親しまれる多彩な事業の推進</p> <p>○円山コンサート(フォークコンサート、カントリーコンサート)を京都市主催事業として実施(平成29年10月) フォークコンサート 参加者2115名 カントリーコンサート 参加者793名 ○明治150年・京都のキセキ・プロジェクト(9月～) ポータルサイトの開設(9月) 京都・明治150年キックオフイベントの開催(H30・1月) 明治150年記念・全区りレー事業の実施(H30・3～11月) 各種関連イベント・展示会等の開催 ○第15回京都学生祭典の年間活動テーマを「京都学生文化の創出」と設定し、プレイベントを6月に右京区で、8月に京都駅ビル&ポルタで開催し、10月に本祭を開催 本祭の来場者数:136,000人 ○京都学生祭典において、毎月15日を「京都学生文化発信の日」と位置付け、京都学生広報部と連携し、京都の文化人によるレクチャーやインタビュー等を通じて京都の文化について学び、学生の視点で発信(29年度のみ実施) ①6月15日発信分 … 葵祭齋王代 富田 紗代さん(同志社大学) ②7月15日発信分 … 祇園祭 大船鉦囃子方 佐々木 良輔さん(京都産業大学、京都学生祭典実行委員) ③8月15日発信分 … 京料理萬重 若主人 田村 圭吾さん ④9月15日発信分 … 華道「未生流笹岡」家元 笹岡 隆甫さん ⑤10月15日発信分 … 門川市長、松坂 地域文化創生本部事務局長、喜馬 第15回京都学生祭典 実行委員長、石永 京都学生広報部 編集チーム副リーダーの4者対談 ○ヒューマンステージ・イン・キョウトの開催(著名人によるコンサートやトーク等を中心とした人権啓発イベントを開催) 日 時 平成30年1月27日(土) 場 所 ロームシアター京都 サウスホール 内 容 テーマ「興味・関心をもつことに国境はない」 マーティ・フリードマン氏 トーク&ライブ 全国中学生人権作文コンテスト京都大会 入賞作品朗読 四字熟語人権マンガ 入賞作品紹介クロストーク 人権擁護委員活動紹介 ほか 参加者 512名</p>	実施済み 又は実施 中	<p>○円山コンサート(フォークコンサート、カントリーコンサート)を京都市主催事業として実施(平成30年10月予定) ○明治150年・京都のキセキ・プロジェクト 明治改元記念事業(シンポジウムなど)の実施(10月予定) 明治の精神と知恵を今と未来に活かす事業の実施(6月～) 全局区における明治150年関連事業の実施 ○京都学生祭典をはじめ学生の主体的活動と連携した、産業や文化の振興とまちづくりなどの推進 ○ヒューマンステージ・イン・キョウトの開催(著名人によるコンサートやトーク等を中心とした人権啓発イベントを開催)</p>
方向性1	市民が文化芸術に親しむ			38	<p>・市民狂言会、市民寄席、京都薪能、華道京展など、市民や観光客が伝統的な文化芸術に身近に触れる機会の提供</p> <p>○「国立京都伝統芸能文化センター(仮称)基本構想」(素案)に掲げるセンターで備えるべき機能を確保するための事業を検討し、伝統芸能文化創生プロジェクトを試行的に実施。「講座シリーズ」3回、シンポジウムと総合イベントとして「落語theシンポジウム」や「三味線三昧」、また、「先覚に聴く」を実施 ○市民狂言会を全4回実施(6、8、12、3月) ○華道京展を実施(4月) ○いけばなプレゼンテーションを実施(6月) ○京の文化絵巻2017を実施(8月) ○京都薪能を実施(6月) ・能の世界へおこしやす(6/1、2 2公演 978名) ○「京都・和の文化体験の日」の実施(歌舞伎)(11月～12月) ○市民寄席を全5回実施(5/23,7/19,9/23,11/14,1/21 2,585名) ○観桜茶会を実施(4月) ○「市民煎茶の会」を実施(5月) ○二条城お城まつりの中で「市民大茶会」を実施(10、11月)</p>	実施済み 又は実施 中	<p>○「国立京都伝統芸能文化センター(仮称)基本構想」(素案)に掲げるセンターで備えるべき機能を確保するための事業である「伝統芸能文化創生プロジェクト」を本格的に開始する。 ○市民狂言会を全4回実施(6、8、12、3月) ○華道京展を実施(4月) ○いけばなプレゼンテーションを実施(6月) ○京の文化絵巻2018を実施(8月) ○京都薪能を実施(6月) ○京都・和の文化体験の日を実施(冬季) ○市民寄席を全5回実施予定(5、7、9、11、1月) ○観桜茶会を実施(4月) ○「市民煎茶の会」を実施(5月) ○二条城お城まつりの中で「市民大茶会」を実施(10、11月) ○二条城桜まつりの中で「マルチリンガル伝統文化ウィーク in 二条城」とし、いけばな、雅楽、狂言、芸舞妓の舞、三味線、書道をステージで披露</p>

第2期 京都文化芸術都市創生計画					29年度実績(30年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の29年度取組予定から転記しています。	29年度末 時点の 進捗状況	30年度取組予定
方向性	見出し	重要	新規	施策 番号			
方向性1	市民の文化芸術活動を応援する	○		39	<p>○東山アーティスト・プレイズメント・サービス(略称HAPS)が、京都を拠点に活動する若手芸術家等の、居住・制作環境の整備から、専門家のネットワークによる発表支援まで、幅広く総合的なサポートを行うことで、才能ある芸術家が京都に集結し、ひいては、彼らのエネルギーがまちの活力に繋がることを目指す。</p> <p>○文化芸術コア・ネットワークを継続して運用。例会や総会を実施</p> <p>○民間の市内シェアオフィス・コワーキングスペース等の「見える化」とコミュニティ同士の連携促進により創業支援、事業創出を目的としたプラットフォームの構築につなげる</p> <p>○「京北版「創造農村」の実現に向けた調査・発信事業</p> <p>「京都市 京北未来かがやきビジョン」に掲げる「京北版創造農村」の実現に向け、京北地域で創造的な活動を行っている事業者を調査・発掘し、新たに移住を検討されている方に対して、「京北地域で暮らし、働く魅力」を発信する。あわせて、幼少から京北地域で育ち、創造的な活動を行っている住民を調査・発掘し、「京北地域で暮らし、働く魅力」を発信するコンテンツの更なる充実を図った。</p> <p>○シェア・コワーキングコミュニティ間の連携を促進し、創業の後押しや事業創出・連携に繋げることを目的に、情報を集約・一元化し発信するWEBプラットフォーム「GoWorkin' KYOTO」(WEBサイト)を構築(H30.3)</p>	実施済み 又は実施 中	<p>○東山アーティスト・プレイズメント・サービス(略称HAPS)が、京都を拠点に活動する若手芸術家等の、居住・制作環境の整備から、専門家のネットワークによる発表支援まで、幅広く総合的なサポートを行うことで、才能ある芸術家が京都に集結し、ひいては、彼らのエネルギーがまちの活力に繋がることを目指す。</p> <p>○文化芸術コア・ネットワークを継続して運用。例会や総会を実施</p> <p>○市内のシェア・コワーキング運営者を集めたミーティングを通じて、プラットフォームへの参画を促進するとともに、創業関連イベント等における周知などを通じて、プラットフォームの知名度向上、利用者増を目指す。</p>
方向性1	市民の文化芸術活動を応援する			40	<p>・芸術系NPO等との連携の促進</p>	実施済み 又は実施 中	<p>○京都文化芸術コア・ネットワークの中でNPO等とも連携</p> <p>○「きょうと地域力アップおうえんフェア」における文化・芸術に関わるブース等の出展(3月)</p>
方向性1	市民の文化芸術活動を応援する			41	<p>・京都で開催される文化芸術の事業を京都全体で一体的に発信するため、京都文化芸術コア・ネットワークを基盤とした「アートエキシビジョン・京都」の実施</p>	実施済み 又は実施 中	<p>○文化芸術コア・ネットワークを継続して運用(25年度～)。例会や総会を実施</p> <p>○京都文化芸術コア・ネットワークを基盤としたAGKサロンの開催</p>
方向性1	市民の文化芸術活動を応援する			42	<p>・文化ボランティア活動の機運を高める取組の推進</p>	実施済み 又は実施 中	<p>○文化ボランティア制度を引き続き実施。</p> <p>活動事業数事業64事業 延べ活動日数425日 文化ボランティア活動者数述べ1,052名</p>
方向性1	市民の文化芸術活動を応援する			43	<p>・市民ふれあいステージ、京都さくらパレード等の開催による市民の文化芸術活動の支援</p>	実施済み 又は実施 中	<p>○「市民ふれあいステージ」(10月予定)の開催</p> <p>○京都さくらパレードの開催(平成31年3月予定)</p> <p>○KYOTO ART BOX を継続して運用</p> <p>○市民創造ステージの開催(呉竹、西文化会館ウエスティ、北、右京)</p>

第2期 京都文化芸術都市創生計画					29年度実績(30年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の29年度取組予定から転記しています。	29年度末 時点の 進捗状況	30年度取組予定
方向性	見出し	重要	新規	施策 番号			
方向性1	市民の文化芸術活動を応援する			44	施策・事業名及び内容 (★は重要事業、・は推進施策、◎は新規事業) ※第2期計画内容 ・東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機とした、市民、企業等の民間団体、文化芸術団体や芸術系大学等と連携した文化芸術イベントの開催	実施済み又は実施中	◎京都国際映画祭2018(10月実施予定) ◎京都文化芸術コアネットワーク事業を実施 ◎KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭2018を開催(平成30年4月14日～5月13日) ◎KYOTO STEAM―世界文化交流祭―の実施 ◎京都文化カプロジェクト2016―2020の実施
方向性1	市民の文化芸術活動を応援する			45	・「世界遺産・二条城一口城主募金」や「京都市動物園サポーター制度」など、文化芸術を支える基金に対する市民や企業等の一層の賛同・協力の促進	実施済み又は実施中	◎二条城 世界遺産・二条城一口募金を引き続き募集 ◎動物園 市民や企業からエサ代や施設整備費等を支援いただき、これらの財源として活用していく。 ◎ふるさと納税寄付金「だいきっ！京都。寄付金」を引き続き募集 収入状況(20年6月25日～30年3月31日) 収入件数:3,953件 収入総額:283,734千円
方向性1	市民の文化芸術活動を応援する			46	・後援等による文化事業の支援	実施済み又は実施中	◎後援名義使用許可を引き続き実施 ◎長年にわたって後援事業を実施している団体等を顕彰する制度、「京都市文化芸術表彰 有功賞」を平成25年度に創設
方向性1 方向性3	文化的景観の保護と継承等 文化財を守り活用する 景観を保全し再生する	○		47	★寺社等の歴史的資産と周囲の町並みが一体となった歴史的景観の保全の推進 歴史的景観の核となる寺社等は、地域の歴史や文化を引き継ぐ大切な歴史的資産です。 平成28年度に「歴史的景観の保全に関する取組方針」をとりまとめ、景観規制の充実や歴史的資産への支援の充実、地域との協働による景観づくりの推進等の具体的施策を策定し、推進します。	一部を除き、実施済み又は実施中	◎以下の具体的施策の実施に向けた環境整備や制度運用等を行う。 ・景観規制の充実(眺望景観創生条例に基づく視点場の追加、事前協議(景観デザインレビュー)制度の運用等) ・歴史的な建造物等を保全するための支援策(専門家派遣制度の実施) ・景観に関する様々な情報を共有できる「景観情報共有システム」の構築 ・事前協議(景観デザインレビュー)制度の対象となる27箇所の寺社周辺のうち、5地区を対象として歴史的資産周辺の景観情報(プロフィール)の充実に向けた取組(ワークショップ、まち歩き等)の実施 ・眺望景観に関するデザイン基準の具体的な運用等について解説する「ガイドライン」の作成 ・上記施策に関する周知、普及啓発

第2期 京都文化芸術都市創生計画					29年度実績(30年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の29年度取組予定から転記しています。	29年度末 時点の 進捗状況	30年度取組予定
方向性	見出し	重要	新規	施策 番号			
方向性1 方向性3	文化的景観の保護と 継承等 景観を保全し再生す る			48	<p>・自然・歴史的景観等、美しく京都らしい景観を守るための各種制度の効果的な運用</p> <p>○国や本市独自の制度の運用により、美しい自然・歴史的景観の保全、京都らしい市街地景観の整備、眺望景観の創生を図る取組を推進 ○森林・竹林の保全・再生による古都の景観向上 ○きめ細やかな建築デザインの規制・誘導による良好な市街地景観の形成 ○「まちの匠」の知恵を生かし、地域と連携しながら市民、事業者と共に取り組む民間建築物の耐震化の推進 ・「まちの匠の知恵を活かした京都型耐震リフォーム支援事業」の補助内容と実績 補助率：耐震改修工事費用の90% 補助限度額：1戸当たり60万円(メニューごとに限度額あり) 利用実績 680件 ○京都ならではのすまいや暮らし方を学ぶ「住教育」及び子どもたちが健やかに育つ住まい方等を創造する「住育」の推進 ・住教育を推進するため、「すまいスクール」の講座として「夏休み自由研究」世界にひとつ☆自分だけのおしゃれな部屋づくり等計2回、また平成の京町家普及促進事業として「小さな小屋の瓦屋根を葺いてみよう！」等の親子向け体験講座を計4回開催したほか、PTAフェスティバルへのブース出展や、学校教育の場で、住教育を推進する住まいに関する授業を試行的に実施した。 ・住育を推進するため、「すまいスクール」の講座として「住」から考える子どもの健康～自然素材で作るすまい～」等計2回開催した。 ○嵯峨野の原風景を生かした広沢池周辺保存管理基本計画(仮称)に向けた調査の実施 ○公共土木事業の各種工事において市内産木材の活用を推進した。 ○「哲学の道」散策路の植栽、石積、緑石等の整備及び桜並木の保全を実施</p>	実施済み 又は実施 中	<p>○国や本市独自の制度の運用により、美しい自然・歴史的景観の保全、京都らしい市街地景観の整備、眺望景観の創生を図る取組を推進 ○森林・竹林の保全・再生による古都の景観向上 ○きめ細やかな建築デザインの規制・誘導による良好な市街地景観の形成 ○京町家の保全及び継承に関する条例の制定を踏まえた支援制度の充実を図ると共に、昨年度に引き続き、「まちの匠の知恵を活かした京都型耐震リフォーム支援事業」を核とした民間建築物の耐震化の取組を継続実施する。 ○京都ならではのすまいや暮らし方を学ぶ「住教育」及び子ども達が健やかに育つ住まい方等を創造する「住育」の推進 ○「哲学の道」散策路の植栽、通路等の整備及び桜並木の保全を実施 ○市内産木材の土木構造物等への積極的な活用による環境にやさしい「地産地消」の取組の強化 ○広沢池周辺保存管理基本計画(仮称)の策定に向けたワークショップの開催等</p>
方向性1 方向性3	文化的景観の保護と 継承等 景観を保全し再生す る			49	<p>・「京都市歴史的風致維持向上計画」の取組の推進</p> <p>○歴史的風致形成建造物等の指定拡大により、歴史的建造物の保全・再生に取り組むとともに、歴史まちづくりを推進 ○無電柱化事業の推進 ○石畳舗装の補修 延長100m【辰巳通】 延長28m【安井経6号線(ねねの道)】 ○石畳舗装の整備 整備延長180m【京都日吉美山線(嵯峨鳥居本)】 整備延長700m【粟田経10号線 ほか】</p>	実施済み 又は実施 中	<p>○歴史的風致形成建造物等の指定拡大により、歴史的建造物の保全・再生に取り組むとともに、歴史まちづくりを推進 ○無電柱化事業の推進 ○無電柱化候補路線の選定 ○石畳舗装の整備 整備延長200m【京都日吉美山線(嵯峨鳥居本)】 整備延長270m【新道緯3号線(安井北門通)】</p>
方向性1 方向性3	文化的景観の保護と 継承等 景観を保全し再生す る			50	<p>・京町家の保全・再生・活用の取組の推進</p> <p>○京町家まちづくりファンドを利用した改修助成 3件 ○(公財)京都市景観・まちづくりセンター(京町家等継承ネットを含む。)との連携による官民連携での京町家の保全・再生・継承のための相談対応や普及啓発の実施 ○京町家を次世代に引き継ぐための条例を制定 ○京都市歴史的建築物の保存及び活用に関する条例の運用 ・長江家住宅主屋北棟(条例適用第8号) ・旧美濃幸(条例適用第9号) ○同条例の保存活用計画作成支援事業の実施 ○歴史的建築物の建築基準法適用除外に係る専門家への意見聴取 ○同条例等の普及啓発事業の実施 ○良好な景観を創出し、低炭素社会を実現する京都型環境配慮住宅「平成の京町家」の更なる普及促進 ・「平成の京町家」の認定(3件) ・「平成の京町家」モデル住宅展示場KYOMOの運営 (平成29年10月末日で終了) ・「平成の京町家」コンソーシアムと連携した普及啓発活動の実施(イベント9回開催、624名参加)</p>	実施済み 又は実施 中	<p>○京町家まちづくりファンドの取組の継続 ○京町家まちづくりクラウドファンディング支援事業の実施 ○京町家等継承ネットによる官民連携での京町家の保全・継承のための相談対応や普及啓発の実施 ○京町家所有者と活用希望者等のマッチング制度の運用 ○個別指定する又は指定する地区に存する京町家の改修に係る費用等に対する助成の実施 ○京町家を次世代に引き継ぐための計画策定に向けた検討 ○京都市歴史的建築物の保存及び活用に関する条例の運用 ○同条例の保存活用計画作成支援事業の実施 ○歴史的建築物の建築基準法適用除外に係る専門家への意見聴取 ○同条例等の普及啓発事業の実施 ○良好な景観を創出し、低炭素社会を実現する京都型環境配慮住宅「平成の京町家」認定制度の実施</p>

第2期 京都文化芸術都市創生計画					29年度実績(30年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の29年度取組予定から転記しています。	29年度末 時点の 進捗状況	30年度取組予定
方向性	見出し	重要	新規	施策 番号			
方向性2	伝統的な文化芸術を受け継ぐ	○		51	<p>★★伝統芸能文化の振興に向けた先駆的取組の実施 伝統芸能文化を未来へと継承していくために、「国立京都伝統芸能文化センター(仮称)」の創設を目指しています。本センターが持つべき機能を先行的に実現する事業として、京都に集積する日本の伝統的な文化芸術を国内外に強力に発信するための取組、演者のみならず、芸能を支える楽器・用具用品の製作者、企画等を行うコーディネーターの育成、伝統芸能を支える鑑賞者の裾野を広げていくための取組等を実施します。</p>	<p>○国家予算要望の中で「国立京都伝統芸能文化センター(仮称)」の機能確保のための支援を要望(29年6月) ○「国立京都伝統芸能文化センター(仮称)基本構想」(素案)に掲げるセンターで備えるべき機能を確保するための事業を検討し、伝統芸能文化創生プロジェクトを試行的に実施。「講座シリーズ」3回、シンポジウムと総合イベントとして「落語theシンポジウム」や「三味線三昧」、また、「先覚に聴く」を実施</p>	<p>○国家予算要望の中で「国立京都伝統芸能文化センター(仮称)」の機能確保のための支援を要望(30年6月) ○「国立京都伝統芸能文化センター(仮称)基本構想」(素案)に掲げるセンターで備えるべき機能を確保するための事業である「伝統芸能文化創生プロジェクト」を本格的に開始する。30年度は、以下の事業を重点的に実施する。 ・伝統芸能文化に係る相談対応 ・関係機関とのネットワークの構築 ・伝統芸能文化復元・活性化共同プログラム</p>
方向性2	伝統的な文化芸術を受け継ぐ	○		52	<p>★社会人や通訳、外国人等を対象とした伝統的な文化芸術を理解するための講座の実施 京都を中心に活躍する社会人、特に通訳ガイド等、外国人と接する機会が多い人は、京都の文化についての発信の機会も多く、それらの方々が、京都の文化の理解を深め、正しく伝えられるような講座等を実施します。 具体的には、国の特区制度を活用した京都市独自の「認定通訳ガイド」に対する文化芸術の研修の実施等、効果的な形式で実施します。</p>	<p>○「京都市認定通訳ガイド」の専門研修科目に伝統文化を追加するなどの取組を実施 ○ガイド対象地域を京都市のみならず、大津市、宇治市(世界遺産古都京都の文化財のエリア)に拡大 ○「まち・ひと・こころが織り成す京都遺産」制度と連携のうえ、京都遺産の魅力を満喫できる体験型ツアーを実施 ・北野地域を巡る英語ガイドツアー(試行実施) ・西陣地域を巡る英語ガイドツアー(試行実施) ○新たな観光資源の発掘と伝統産業製品の販路拡大を図る工房訪問事業の推進 ○世界で活躍する研究者等の相互交流を目的とした交流促進事業「Design Week Kyoto 2018」の実施(H30. 2) ○大学のまち・京都の魅力を感じられる短期留学受入プログラムの実施 夏季プログラム(参加者:6ヶ国10名)、冬季プログラム(参加者:9ヶ国24名) ○大学等の資源をいかに取組として、大学コンソーシアム京都と協働で実施している社会人向けの生涯学習事業である「京カレッジ」において、「京都力養成コース」や、文化力・地域力の向上を目的とする「教養力養成コース」など、京都ならではの文化芸術に関する講座を提供 科目提供大学:30大学・2機関 提供科目数:276科目 出願者数:1,679人</p>	<p>○交流促進事業の実施(時期未定) ○「京都市認定通訳ガイド」の専門研修科目で伝統文化を実施 ○「まち・ひと・こころが織り成す京都遺産」制度と連携のうえ、京都遺産の魅力を満喫できる体験型ツアーを実施 ○新たな観光資源の発掘と伝統産業製品の販路拡大を図る工房訪問事業の推進 ○認定後の「京都市認定通訳ガイド」へのスキルアップ研修を実施 ○大学のまち・京都の魅力を感じられる短期留学受入プログラムの実施 ○大学等の資源をいかに取組として、大学コンソーシアム京都と協働で実施している社会人向けの生涯学習事業である「京カレッジ」において、「京都力養成コース」や、文化力・地域力の向上を目的とする「教養力養成コース」など、京都ならではの文化芸術に関する講座を提供</p>
方向性2	伝統的な文化芸術を受け継ぐ			53	<p>・京都ならではの伝統的な文化芸術の集積をいかした舞台公演の実施等</p>	<p>○「国立京都伝統芸能文化センター(仮称)基本構想」(素案)に掲げるセンターで備えるべき機能を確保するための事業を検討し、伝統芸能文化創生プロジェクトを試行的に実施。 ・「三味線三昧」 日時:平成30年2月4日(日) 材料から楽器が作られる工程を知り、それを使って演奏される各種音楽の違いを聴き比べた。</p>	未定
方向性2	伝統的な文化芸術を受け継ぐ			54	<p>・京都芸術センター等文化芸術拠点施設における伝統的な文化芸術継承・創造の取組の推進</p>	<p>○明倫茶会を実施(3回) ○「継ぐこと・伝えること」番外編公演実施 ○「みみききプログラム」の実施</p>	<p>○地域の伝統芸能を発掘し披露する事業の実施(5館実施) ○明倫茶会を実施(4回程度) ○「継ぐこと・伝えること」を実施 ○「みみききプログラム」を実施</p>
方向性2	伝統的な文化芸術を受け継ぐ			55	<p>・伝統的な文化芸術の裾野を広げるワークショップの拡充等</p>	<p>○「国立京都伝統芸能文化センター(仮称)基本構想」(素案)に掲げるセンターで備えるべき機能を確保するための事業を検討し、伝統芸能文化創生プロジェクトを試行的に実施。「講座シリーズ」3回、シンポジウムと総合イベントとして「落語theシンポジウム」や「三味線三昧」、また、「先覚に聴く」を実施</p>	<p>○「国立京都伝統芸能文化センター(仮称)基本構想」(素案)に掲げるセンターで備えるべき機能を確保するための事業である「伝統芸能文化創生プロジェクト」を本格的に開始する。</p>

第2期 京都文化芸術都市創生計画					29年度実績(30年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の29年度取組予定から転記しています。	29年度末 時点の 進捗状況	30年度取組予定	
方向性	見出し	重要	新規	施策 番号	施策・事業名及び内容 (★は重要事業、・は推進施策、◎は新規事業) ※第2期計画内容			
方向性2	伝統的な文化芸術を受け継ぐ			56	・伝統的な文化芸術の研究や文化創造の機能の推進	○日本伝統音楽研究センターでの取組 ・伝音セミナー センターが所蔵する貴重なSPレコード等を中心に様々なジャンルを聞くことができる市民向け講座を実施(9回実施) ・公開講座 日本の伝統音楽及びその研究活動を分かりやすい形で伝えるために開催する市民向け講座を開催(6月、9月、2月に計4回実施) ・でんおん連続講座 日本の伝統音楽・芸能について、大学・大学院で扱うような専門的なテーマを、初めての方でも分かりやすく学べる講座を実施(9講座実施(1講座につき全2回～10回))	実施済み 又は実施 中	○日本伝統音楽研究センターでの取組 ・伝音セミナー センターが所蔵する貴重なSPレコード等を中心に様々なジャンルを聞くことができる市民向け講座を実施 ・公開講座 日本の伝統音楽及びその研究活動を分かりやすい形で伝えるために開催する市民向け講座を開催 ・でんおん連続講座 日本の伝統音楽・芸能について、大学・大学院で扱うような専門的なテーマを、初めての方でも分かりやすく学べる講座を実施
方向性2	伝統的な文化芸術を受け継ぐ			57	・古典の日の推進	○第9回古典の日朗読コンテストの実施(6～8月) ○源氏物語と釈迦邸大茶会の開催(10月) ○古典の日フォーラムの実施(11月) ○古典の日関連HPの運営	実施済み 又は実施 中	○第10回古典の日朗読コンテストの実施(6～8月) ○街かど古典カフェの開催(5月、9月) ○古典の日フォーラムの実施(11月) ○古典の日関連HPの運営
方向性2	伝統的な文化芸術を受け継ぐ			58	・全国の様々な人が集う伝統芸能の祭典の開催	事業内容は今後検討	着手前	事業内容は今後検討
方向性2	伝統的な文化芸術を受け継ぐ			59	・国立京都歴史博物館(仮称)の整備に向けた取組	○京都にはまち全体に貴重な文化財や文化遺産があり、まち全体が歴史を物語るミュージアムであることから、歴史を紡いできた有形・無形遺産を守り、継承する取組を促進	実施済み 又は実施 中	○京都にはまち全体に貴重な文化財や文化遺産があり、まち全体が歴史を物語るミュージアムであることから、歴史を紡いできた有形・無形遺産を守り、継承する取組を促進する。
方向性2	新たな文化芸術を創り出す	○		60	★文化芸術に関するネットワークを活用した新たな文化芸術の創造 創造環境を洗練させ、新たな文化芸術を創造するためには、文化芸術の専門的な活動を行う人と様々なジャンルの人・団体の有機的な連携が必要になります。 官民(文化団体、NPO、大学、行政等)が連携した京都文化芸術コア・ネットワークを活用し、多彩な事業を実施することで、新たな文化芸術の創造につなげます。	○文化芸術コア・ネットワークを継続して運用(25年度～)。例会や総会を実施	実施済み 又は実施 中	○文化芸術コア・ネットワークを継続して運用(25年度～)。例会や総会を実施
方向性2	新たな文化芸術を創り出す	○	○	61	★社会課題を解決するソーシャルデザインにおける文化芸術の活用により芸術家の活躍の場を拡大する取組(◎新規) 近年、社会的な課題の解決にソーシャルデザインの手法が用いられており、そこに文化芸術が持つ力を活用することが注目されています。人口減少、空き家対策など、本市においても地域ごとに課題はありますが、文化芸術はそれらの解決の糸口となる可能性を秘めています。 また、本市では、ソーシャルイノベーション研究所を設置しており、社会的課題にアプローチする企業を支援しています。また、大学でもソーシャルデザインの研究が充実しています。 柔軟な発想で社会に関わることができる芸術家が、ソーシャルデザインの取組に参画し、芸術家が活躍するフィールドを広げる取組を進めます。	○関係機関等から事例・情報収集を実施 ○東アジア文化都市2017京都の共同企画事業として、京都で活動する様々な人やグループと共同し、京都の文化の多様性や文化を生かした創造的な暮らしとその魅力を市民と共有し、世界に向けて発信する「PLAY ON, KYOTO」を実施。アーティストの感覚が場のデザインに活かされ、その場の活性化へつなげる活動などを紹介し、本事業の企画・制作を担った一般社団法人リリクスによる「PLAY ON EARTH」という活動へつながることで、京都で生まれたアイデアを共有する場を創出。	実施済み 又は実施 中	○市内の芸術系大学等と意見交換を行うなどし、取組内容を検討していく。 ○「PLAY ON, EARTH」の継続
方向性2	新たな文化芸術を創り出す	○		62	★文化芸術を発展させるためのオープンデータの活用 近年、オープンデータを新しいビジネスの展開に活用する取組が進められています。オープンデータの活用は、新たな文化芸術を生み出す可能性もあります。本市が持つ文化芸術関係の情報を積極的に公開することで、そういった可能性を高めます。	○市民・市内の団体・大学・市内中小企業等にオープンデータを利活用してもらうことで、「市民協働の促進による市民サービスの向上」、「地域経済の活性化」、「行政の透明性・信頼性の向上」に寄与することを目的として、平成28年度に新しく開設した「京都市オープンデータポータルサイト」に、「文化・芸術」を重点分野として位置付け、現在9件の情報を公開している。今後も、オープンデータとして活用できる文化芸術情報の公開を進められるよう、取組を進めていく。	実施済み 又は実施 中	○「文化・芸術」関連のデータのオープンデータとしての公開を引き続き推進する。 ○市民・大学・市内中小企業のデータ利用に係るニーズ把握とアイデア共有のための意見交換会を引き続き開催していく。なお、従来は他団体開催のイベント等を意見交換会に位置付けてきたが、今年度は本市が自ら開催するための予算が措置されている。

第2期 京都文化芸術都市創生計画					29年度実績(30年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の29年度取組予定から転記しています。	29年度末 時点の 進捗状況	30年度取組予定
方向性	見出し	重要	新規	施策 番号			
方向性2	新たな文化芸術を創り出す	○		63	<p>★「映画のまち・京都」ならではの映画・映像文化等の振興 民間企業が主体となって開催する京都国際映画祭や立誠シネマ×シネマカレッジ京都等への支援を通じて、京都が持つ映画・映像資源を活用しながら、映画都市としての魅力を世界に広く発信するとともに、若手を支援する事業を実施します。 加えて、京都市メディア支援センターを中心に、市民や各施設等と連携し、撮影に対する協力等、撮影環境の向上に取り組むことで、映画・映像文化を振興するとともに、撮影場所としての京都の魅力も引き出します。</p>	<p>○京都国際映画祭2017の支援 ○立誠シネマ×シネマカレッジ京都をシマフィルム(株)、(株)映画24区と共催実施(会場:元立誠小学校)(平成29年8月末まで) ○京都芸術センターで、イメーজフォーラムフェスティバル2017をCo-programとして実施 ○京都市メディア支援センターによる支援の実施 ○コンテンツ産業振興事業の実施</p>	<p>○京都国際映画祭2018の支援 ○京都芸術センターで、イメージフォーラムフェスティバル2018をCo-programとして実施 ○京都市メディア支援センターによる支援の実施 ○コンテンツ産業振興事業の実施</p>
方向性2	新たな文化芸術を創り出す	○		64	<p>★京都国際舞台芸術祭(KYOTO EXPERIMENT)の開催</p>	<p>○京都国際舞台芸術祭 KYOTO EXPERIMENT 2017を開催(10~11月) 期間:平成29年10月14日~11月5日 テーマ:『内なる他者との出会い』 会場:ロームシアター京都、京都芸術センター、京都芸術劇場春秋座等 プログラム:金氏撤平「tower」、田中奈緒子「Unverinnerlicht-内在しない光」、池田亮司×Eklektof music for percussion」他計11の公式プログラム</p>	<p>○京都国際舞台芸術祭 KYOTO EXPERIMENT 2018を開催予定(10月)</p>
方向性2	新たな文化芸術を創り出す			65	<p>・京都国際写真祭(KYOTOGRAPHIE)の開催</p>	<p>○国内外の重要作家の貴重な写真作品や写真コレクションを、趣きのある歴史的建造物やモダンな近現代建築の空間に展示する KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭2017を春に開催。 期間:平成29年4月15日~5月14日 テーマ:LOVE 会場:二条城二の丸御殿台所・東南隅櫓、両足院、菅田屋源兵衛 竹院の間 ほか プログラム:・フランス国立ギメ東洋美術館・写真コレクション展 ・アーノルド・ニューマン展 「マスタークラス-ポートレートの巨匠-」 ・Memento Mori ロバート・メイブルソープ写真展 ・荒木経惟「机上の愛」 ほか計16のメインプログラム</p>	<p>○国内外の重要作家の貴重な写真作品や写真コレクションを、趣きのある歴史的建造物やモダンな近現代建築の空間に展示する KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭2018を春に開催。 期間:平成30年4月14日~5月13日 テーマ:UP 会場:京都新聞ビル印刷工場跡、堀川御池ギャラリー、京都文化博物館別館 ほか プログラム:・ローレン・グリーンフィールド「GENERATION WEALTH」 ・森田具海「Sanrizuka-Then and Now-」 ・クロード・ディティヴォン「バリ五月革命-夢見る現実」 ・深瀬正久「遊戯」 ほか計15のメインプログラム</p>
方向性2	文化芸術の担い手を育成・支援する	○		66	<p>★京都芸術センター等による芸術家の育成・活動支援 芸術家、芸術関係者の育成、作品の制作・発表の場の提供など、若い芸術家の成長を支えてきた京都芸術センターの機能強化、活動の充実に取り組むとともに、「京都市芸術文化特別奨励制度」の一層効果的な運用を引き続き実施します。</p>	<p>○京都芸術センターを運営中 「KACパフォーミング・アーツ・プログラム」を開催 「展覧会 東アジア文化都市2017京都」アジア回廊を開催 「展覧会 新企画展」を開催 「T.T.T(トラディショナル・シアター・トレーニング)」を開催(7月~8月) ○京都市芸術文化特別奨励制度を引き続き実施 応募件数62件、選定件数2件</p>	<p>○京都芸術センターを運営中 「KACパフォーミング・アーツ・プログラム」を開催 「展覧会 新企画展」を開催 「T.T.T(トラディショナル・シアター・トレーニング)」を開催(7月~8月) ○京都市芸術文化特別奨励制度を引き続き実施 ○ロームシアター京都×京都芸術センター連携事業 U 35創造支援プログラム「KIPPU」の実施</p>
方向性2 方向性3	文化芸術の担い手を育成・支援する 観光・産業・学術・教育・福祉・まちづくり等と文化芸術の融合	○	○	67	<p>★★芸術家の社会的、経済的地位の向上につながる各種取組の推進(◎新規) 芸術家は、その地位が確立され、収入が安定するまで相当な苦勞がありますが、京都は市民の文化芸術への理解があり、芸術家の活動を適切に評価し、支えてきたまちです。 芸術家を志す人に対して、あらゆる施策と連動し、居住・制作・発表環境に関する支援を充実するとともに、芸術家としての修練を積みながら生活できるような施策、例えば、発表の機会を増やすことで収入につなげたり、その場で販売できるようにしたりすることで、職業人として芸術家が生活し得るまちを目指します。</p>	<p>○HAPSにおいて、芸術家に適した仕事を振り起し、それを若手芸術家に紹介する、「芸術家×仕事コーディネート事業」を開始(30年3月)。 ○京都学生アートオークションの実施(第1回29年9月、第2回30年3月) 第1回出品作品数32点 第2回出品作品数18点 ○京都の強みを活かした産業振興による安定した雇用の創出やひとづくりの推進</p>	<p>○HAPSにおいて、芸術家に適した仕事を振り起し、それを若手芸術家に紹介する、「芸術家×仕事コーディネート事業」を実施する。 ○京都学生アートオークションの実施(12月予定) ○ハリー市との共同で京都とバリの職人やアーティストが交流してアート市場を志向した作品を創作する「京ものアート市場開拓支援事業」を実施。</p>

第2期 京都文化芸術都市創生計画					29年度実績(30年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の29年度取組予定から転記しています。	29年度末 時点の 進捗状況	30年度取組予定	
方向性	見出し	重要	新規	施策 番号	施策・事業名及び内容 (★は重要事業、・は推進施策、◎は新規事業) ※第2期計画内容			
方向性2	文化芸術の担い手を育成・支援する	○		68	★若手芸術家等の居住・制作・発表の場づくりを支援する東山 アーティスト・プレースメント・サービス(HAPS)の取組の推進 将来の芸術活動の飛躍の可能性を秘めた若い人材が、数多く京都に学び、京都にとどまり、磨きをかけることを、HAPSの取組等で支援することにより、若手芸術家の創造活動による文化芸術が、京都のまちで大きく育っていくことを目指します。 また、芸術家が地域で居住・制作・発表することにより、地域のまちづくりを推進します。	○総合サポート窓口相談件数：198件(3月末時点) ○若手芸術家等に空き家を紹介し、居住・制作の場を提供：1件(3月末時点) ○閉校施設を制作スタジオとして活用(全6教室) ○キュレーター招聘の実施：3名(3月末時点) ○地域交流事業(六原フェスタ、もちつき大会への参加、新道児童館と連携したイベントの実施) ○レクチャー・ワークショップの開催(10回開催・参加者171名)	実施済み 又は実施中	○これまでの取組と成果を検証し、今後の事業展開について内容の検討と見直しを行いながら、地域へのアプローチと国際的に活躍する若手芸術家等の育成・支援を実施する。
方向性2	文化芸術の担い手を育成・支援する	○		69	★海外の著名なディレクター、キュレーターの招聘等国内外との文化芸術に関する質の高いコミュニケーションによる人材育成の推進 著名なディレクターやキュレーターの招聘等、国内外との文化芸術に関する質の高いコミュニケーションにより、文化芸術に携わる人材の交流を促進し、異なる視点の刺激を受けることで創作意欲を高めることにより、人材育成を推進します。	○京都国際舞台芸術祭2017において、中国、韓国、ドイツ、ブラジル等から、先駆的なアーティスト、振付家などを招聘。 ○HAPSにおいて、3名のキュレーターを招聘(3月末時点) ○京都芸術センターでAIR事業を実施するとともに、「アーティスト・イン・レジデンス ラウンドテーブル」、「建築Symposium」を実施	実施済み 又は実施中	○京都国際舞台芸術祭2018において、フランス等から先駆的なアーティスト等を市招聘予定。 ○HAPSにおいて、キュレーターを招聘予定 ○京都芸術センターにて、Res Artis ミーティングを実施
方向性2	文化芸術の担い手を育成・支援する	○	○	70	★文化施設間で連携した、文化芸術事業のコーディネーター及び技術者を育成するための取組の推進(◎新規) 市民や芸術家の創造活動を活性化するには、その活動を支援するコーディネーターが必要であり、文化施設にあっては舞台技術者のスキルアップも必要になります。また、文化芸術事業の内容によっては、楽器や道具等を修理する技術が継承されることも重要です。 各文化施設等で取り組んでいるコーディネーター等の人材育成を支援するとともに、その取組の連携を図り、相乗効果を生み出します。	○ロームシアター京都×京都市文化会館5館連携事業の実施 地域の課題を考えるプラットフォーム 「まちの視点を180度変えるローカルメディアづくり ～CIRCULATION KYOTO(サーキュレーション キョウト)～」の実施(4/29.6/17～8/6.3/10 367名) ○平成29年度文化庁次代の文化を創造する新進芸術家育成事業 「舞台音響家のための公開講座」の実施(11/9～10 16名) ○ロームシアター京都×京都市ユースサービス協会連携事業 「未来のわたし 一劇場の仕事」の実施(5月～10月)	実施済み 又は実施中	○ロームシアター京都×京都市文化会館5館連携事業の実施 地域の課題を考えるプラットフォーム 「CIRCULATION KYOTO～劇場編～(仮称)」 ○ロームシアター京都×京都市ユースサービス協会連携事業 「未来のわたし」の実施
方向性2	文化芸術の担い手を育成・支援する			71	・顕彰制度の効果的な実施	○京都市文化功労者7名を表彰 ○京都市芸術新人賞7名、京都市芸術振興賞5名を表彰 ○京都市文化芸術産業観光表彰(文化芸術分野)について、きらめき大賞1名、きらめき賞1名、みらい賞3名を表彰	実施済み 又は実施中	○各顕彰制度を引き続き実施 ○世界文化自由都市宣言40周年を契機とした、文化都市・京都の発信・発展のための新たな顕彰制度の創設
方向性2	文化芸術の担い手を育成・支援する			72	・助成金等内定者資金融資制度等による芸術活動へのきめ細やかな支援	○助成金等内定者資金融資制度を運営。随時申請受付中。 ○HAPSにおいて、アーティスト向けの相談窓口を継続して運営	実施済み 又は実施中	○助成金等内定者資金融資制度を運営。随時申請受付中。 ○HAPSにおいて、芸術家向けの相談窓口を継続して運営

第2期 京都文化芸術都市創生計画					29年度実績(30年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の29年度取組予定から転記しています。	29年度末 時点の 進捗状況	30年度取組予定
方向性	見出し	重要	新規	施策 番号	施策・事業名及び内容 (★は重要事業、●は推進施策、◎は新規事業) ※第2期計画内容		
方向性2	地域のまちづくり活動と連携する	○	○	73	<p>★京都駅周辺エリアをはじめ、新たな文化ゾーンの創出等による地域の特色づくりの推進(◎新規)</p> <p>崇仁地域への京都市立芸術大学の移転整備を見据え、京都駅の東部・東南部・西部エリアのまちづくりの取組を連動させ、京都の玄関口である京都駅の周辺エリアで「文化芸術都市・京都」の新たな文化ゾーンの創出を目指します。また、ロームシアター京都のリニューアル・オープンや京都市動物園のグランドオープンの後の魅力づくりに加え、京都市美術館の再整備も予定しており、これまで進めてきた岡崎地域の魅力を更に深めていきます。</p>	<p>○平成35年度の京都市立芸術大学の崇仁地域への移転の機運を高めるため、地域が進めるエリアマネジメントが円滑に進むよう支援するとともに、下京区全体で機運の醸成を図る。</p> <p>○京都市立芸術大学新キャンパスの設計に着手。</p> <p>○移転整備プレ事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ギャラリー@KCUAにおいて、「still moving 2017: 距離へのパス—far away/so close」(9～11月)を開催 ・元崇仁小学校の教室を改装した崇仁ギャラリーにおいて、「教室のフィロソフィー」(3月)を開催 <p>○京都駅東部エリアの活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都駅東部エリアの活性化に係る庁内検討会議の開催 <p>○京都駅東南部エリアの活性化</p> <p>「文化芸術」と「若者」を基軸とした新たなまちづくりの推進に向けて、公募型プロポーザルにより、京都駅東南部エリア活性化方針推進事業の受託候補者を選定のうえ契約し、全4回のワークショップ及びイベントを開催。(「京都駅東南部エリア アート・トライアル2017-2018」第1回ワークショップ(11月)、第2回ワークショップ(12月)、第3回ワークショップ(2月)、第4回ワークショップ(2月)、イベント「おとと おどりの まつりごと」(3月)の開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な機会を捉えた活性化方針の周知 ・「文化芸術によるまちづくり」に向けた地域の機運醸成 <p>○岡崎地域活性化に向けた取組</p> <p>岡崎公園、疏水・白川に関する絵本パンフレットを作成し、ワークショップを開催した。</p> <p>○西陣の歴史力、文化力、地域力、人間力を活かした地域の活性化</p> <p>○京都駅西部エリアの活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都駅西部エリアまちづくり協議会の運営 ・京都市中央卸売市場第一市場「賑わいゾーン」の活用に向けた取組の推進 <p>○日本の里山の産業・文化・暮らし・ライフスタイルの魅力を発信する「KEIHOKU Style」を12月に開催</p>	<p>○平成35年度の京都市立芸術大学の崇仁地域への移転の機運を高めるため、地域が進めるエリアマネジメントが円滑に進むよう支援する。また、平成30年度は、地域の方や学識経験者等で構成する検討委員会が設置され、京都駅東部エリアの将来構想が策定される予定であり、区役所も連携・協力して、地域の活性化を支援する。</p> <p>○京都市立芸術大学新キャンパスの基本設計及び実施設計の実施</p> <p>○移転整備プレ事業の実施</p> <p>○京都駅東部エリアの将来構想策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都駅東部エリアの活性化に係る庁内検討会議の開催 ・京都駅東部エリア活性化将来構想検討委員会の設置と開催 ・京都駅東部エリア活性化将来構想の策定 <p>○京都駅東南部エリアの活性化</p> <p>「文化芸術」と「若者」を基軸とした新たなまちづくりの推進に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な機会を捉えた活性化方針の周知 ・「文化芸術によるまちづくり」に向けた地域の機運醸成事業を実施する。 <p>○岡崎地域の活性化に向けた取組</p> <p>見学会・ワークショップの開催などの普及啓発事業等を行う。</p> <p>○西陣の歴史力、文化力、地域力、人間力を活かした地域の活性化</p> <p>○京都駅西部エリアの活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都駅西部エリアまちづくり協議会の運営 ・京都市中央卸売市場第一市場「賑わいゾーン」の活用に向けた取組の推進
方向性2	地域のまちづくり活動と連携する	○		74	<p>★「区民提案・共汗型まちづくり支援事業」等各区の個性をいかした各種文化事業の推進</p> <p>地域課題の解決や「自分たちのまちは、自分たちでつくっていく」という地域のまちづくりを、区長・担当区長を先頭に、区役所が柔軟かつスピーディにしっかりと支えていく。京都ならではの地域力をいかした協働型まちづくり「区民提案・共汗型まちづくり支援事業」等において、各区の個性をいかした文化関係事業の取組を推進します。</p>	<p>○「区民提案型支援事業」では、文化や芸術に特化した募集枠の設定や、区民による地域の伝統・伝承文化の保存・継承に向けた取組を実施</p> <p>○「共汗型事業」では、史跡めぐり、文化展示会、文化祭等の文化関係事業や、明治150年記念全区リレー事業を実施</p> <p>○また、「区民提案型支援事業」や「共汗型事業」のうちから、「文化芸術による地域のまちづくり事業」を認定し、各区役所等における取組の情報を集約し、一体的に情報発信をするなど、地域に根差した暮らしの文化の魅力を再発見する取組を29年度も引き続き、進めていく。</p> <p>○上記の「区民提案・共汗型まちづくり支援事業」をはじめ、各区の個性をいかした各種文化事業を推進している。</p> <p>【別紙参照】</p>	<p>○区民が自発的、自主的に企画・運営する「区民提案型支援事業」による地域の伝統・伝承文化の保存・継承に向けた取組や、「共汗型事業」による史跡めぐり、文化展示会、文化祭等の文化関係事業について、様々な取組を引き続き実施する。</p> <p>○今年度は、明治150年関連事業として、「区民提案型支援事業」では明治150年に係る募集枠の設定や、「共汗型事業」では明治150年記念全区リレー事業を実施する。</p> <p>○「区民提案型支援事業」や「共汗型事業」のうちから、「文化芸術による地域のまちづくり事業」を認定し、各区役所等における取組の情報を集約し、一体的に情報発信をするなど、地域に根差した暮らしの文化の魅力を再発見する取組を30年度も引き続き、進めていく。</p> <p>○上記の「区民提案・共汗型まちづくり支援事業」をはじめ、各区の個性をいかした各種文化事業を推進している。</p> <p>【別紙参照】</p>

第2期 京都文化芸術都市創生計画					29年度実績(30年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の29年度取組予定から転記しています。	29年度末 時点の 進捗状況	30年度取組予定
方向性	見出し	重要	新規	施策 番号	施策・事業名及び内容 (★は重要事業、・は推進施策、◎は新規事業) ※第2期計画内容		
方向性2	地域のまちづくり活動 と連携する			75	<p>・「文化芸術活性化パートナーシップ事業」による地域文化会館の効果的な運営等、芸術家等の活動を地域に根付かせ、地域で応援する環境づくり</p> <p>○京都市音楽芸術文化振興財団において、パートナー団体を10団体選出し、無料公演、教育プログラムなど、「文化芸術活性化パートナーシップ事業」等を実施</p> <p>○文化芸術活性化パートナーシップ事業 各文化会館のコーディネーターが、パートナー団体とともに、市民を対象とした無料公演を企画・実施(北文化会館7/23 280名、11/19 370名、東部文化会館7/29 550名、9/18 550名、西文化会館ウエスティ8/20 221名、2/12 351名、3/23 431名、右京ふれあい文化会館12/2 310名、2/18 480名、呉竹文化センター2/15 487名、2/25 480名)</p> <p>○文化芸術活動パワーアップ支援事業 地域の文化芸術活動家等の活動支援として、各文化会館のコーディネーターが舞台演出等をコーディネート(北文化会館8/4 230名、8/5 250名、呉竹文化センター3/31 78名)</p>	実施済み 又は実施 中	<p>○京都市音楽芸術文化振興財団において、パートナー団体を10団体選出し、無料公演、教育プログラムなど、「文化芸術活性化パートナーシップ事業」等を実施</p> <p>○文化芸術活性化パートナーシップ事業 各文化会館のコーディネーターが、パートナー団体とともに、市民を対象とした無料公演を企画・実施(年1回以上、7月～31年3月)</p> <p>○文化芸術活動パワーアップ支援事業 地域の文化芸術活動家等の活動支援として、各文化会館のコーディネーターが舞台演出等をコーディネート(随時)</p>
方向性2	地域のまちづくり活動 と連携する			76	<p>・「文化の薫り漂う、歩いて楽しい岡崎」の推進</p> <p>○官民地域連携のエリアマネジメント組織「京都岡崎魅力づくり推進協議会」を中心に、京都市美術館や国立近代美術館をはじめ、多くの関係主体との連携の下、岡崎の優れた地域資源を活かした地域連携型魅力創出事業や、岡崎の魅力情報発信など、ビジョンに掲げる方策実現に取り組んでいる。</p> <p>・「京の七夕 岡崎プロムナード 星の響宴」開催(8月)</p> <p>・「京都岡崎ハレ舞台」開催(9月)</p> <p>※「東アジア文化都市2017京都」と連携して開催</p> <p>・総合情報パンフレット「岡崎手帖(秋号)」発行(8月)</p> <p>・「岡崎手帖 別冊」岡崎グルメガイド発行(8月)</p> <p>・「京都岡崎ループ」運行(27年9月～)</p> <p>・「岡崎・市電コンシェルジュ」運用(27年12月～)</p> <p>・総合情報パンフレット「岡崎手帖(春号)」発行(3月)</p> <p>・「岡崎桜回廊ライトアップ&十石舟めぐり」開催(3～4月)</p> <p>・「地図で読む 京都・岡崎年代史」の販売(24年6月～)</p> <p>・まち歩き連続講座「岡崎探険」開催(24年8月～)</p> <p>・総合情報サイト「京都岡崎コンシェルジュ」の運用(25年8月～)</p> <p>・スマートフォン向けアプリ「岡崎手帖」運用(25年8月～)</p> <p>・回遊促進型イラストマップ「岡崎どこいこトコトコ」街図」発行(26年8月～)</p> <p>・「岡崎どこいこトコトコ」街図」の英語版「Kyoto OKAZAKI Guide Map」発行(27年3月～)</p>	実施済み 又は実施 中	<p>○官民地域連携のエリアマネジメント組織「京都岡崎魅力づくり推進協議会」を中心に、京都市美術館や国立近代美術館をはじめ、多くの関係主体との連携の下、岡崎の優れた地域資源を活かした地域連携型魅力創出事業や、岡崎の魅力情報発信など、ビジョンに掲げる方策実現に取り組んでいる。</p> <p>・「京の七夕 岡崎プロムナード 星の響宴」開催(8月)</p> <p>・「京都岡崎ハレ舞台」開催(9月)</p> <p>・総合情報パンフレット「岡崎手帖(秋号)」発行(8月)</p> <p>・「岡崎手帖 別冊」岡崎グルメガイド発行(8月)</p> <p>・「京都岡崎ループ」運行(27年9月～)</p> <p>・「岡崎・市電コンシェルジュ」運用(27年12月～)</p> <p>・総合情報パンフレット「岡崎手帖(春号)」発行(3月)</p> <p>・「岡崎桜回廊ライトアップ&十石舟めぐり」開催(3～4月)</p> <p>・「地図で読む 京都・岡崎年代史」の販売(24年6月～)</p> <p>・まち歩き連続講座「岡崎探険」開催(24年8月～)</p> <p>・総合情報サイト「京都岡崎コンシェルジュ」の運用(25年8月～)</p> <p>・スマートフォン向けアプリ「岡崎手帖」運用(25年8月～)</p> <p>・回遊促進型イラストマップ「岡崎どこいこトコトコ」街図」発行(26年8月～)</p> <p>・「岡崎どこいこトコトコ」街図」の英語版「Kyoto OKAZAKI Guide Map」発行(27年3月～)</p>
方向性2	地域のまちづくり活動 と連携する			77	<p>・京都市景観・まちづくりセンター等との連携による市民の主体的なまちづくり活動の支援</p> <p>○景観・まちづくり活動に取り組む地域に、相談内容に応じて、まちづくり専門家派遣や活動助成を実施した。</p> <p>○景観・まちづくりセンターでは、主体的にまちづくり活動に取り組む市民に、大学やNPO等が主催する事業に参加している研究者やアーティストの滞在先、京町家に関する情報提供等を実施した。</p>	実施済み 又は実施 中	<p>○景観・まちづくり活動に取り組む地域に、相談内容に応じて、まちづくり専門家派遣や活動助成を実施。</p> <p>○景観・まちづくりセンターでは、主体的にまちづくり活動に取り組む市民に、大学やNPO等が主催する事業に参加している研究者やアーティストの滞在先、京町家に関する情報提供等を実施。</p>
方向性3	観光・産業・学術・教育・福祉・まちづくり等 と文化芸術の融合	○	○	78	<p>★京都の衣食住等の暮らしの文化をいかした観光振興の推進(◎新規)</p> <p>京都には、京町家、和食、着物など、暮らしに根差した文化芸術資源が豊富にあります。それらを観光客の方々にも理解し、楽しんでいただくため、京町家に宿泊し、茶道や華道などの文化体験をしていただくなど、暮らしの文化をいかした観光振興の取組を推進します。</p> <p>○二条城における早期観光の取組の一環として、通常は非公開の香雲亭にて朝食を提供した。</p>	実施済み 又は実施 中	<p>○「京都の文化資源の魅力発信事業」 民間事業者との連携のもと、和装、和食、茶道、華道など、京都の伝統文化に触れていただくことで、京都が持つ多彩な魅力を発信し、幅広い層の観光客の誘客と分散化を図る。</p> <p>○隠れた名所の活用等による観光地分散化 観光客を惹きつける潜在力を持つ寺社をはじめ、朝・夜に文化・芸術鑑賞や伝統芸能を体験できる施設、美術館や博物館などの展覧会との連携など、多様なエリアの魅力ある名所や見どころを、SNSなどのWEB媒体を含む広報ツールを活用し、情報発信することで、観光客の集中緩和を図るとともに、新たな京都観光の魅力づくりにつなげる。</p>

第2期 京都文化芸術都市創生計画					29年度実績(30年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の29年度取組予定から転記しています。	29年度末 時点の 進捗状況	30年度取組予定
方向性	見出し	重要	新規	施策 番号			
方向性3	観光・産業・学術・教育・福祉・まちづくり等と文化芸術の融合	○		79	<p>★文化財や文化施設が持つ魅力を最大限に引き出し、積極的に活用するための取組の推進</p> <p>文化財や文化施設をはじめとする文化芸術資源は、維持するだけではなく、その価値を存分に引き出し、収益をあげながら更に魅力を高めるような好循環を生み出していく必要があります。</p> <p>具体的には、解説の多言語化や案内板の整備等を充実し、来場者のニーズに応じて特別な文化体験メニューや夜間景観を光で彩る取組を設けるなど、収益性を高めつつ、それらの持つ魅力を引き出します。</p>	<p>○京都の奥深い魅力を活かした体験メニュー等を開発し、京都市認定ガイドによる体験型ツアーを実施。</p> <p>・京都御所と二条城を巡る英語ガイドツアー(試行実施)</p> <p>・早朝の東本願寺と門前町街歩き英語ガイドツアー(試行実施)</p> <p>・二条城英語ガイドツアー 等</p> <p>○「京の七夕」事業を堀川、鴨川会場をはじめ二条城会場でも実施し、竹と光で夜の賑わいを演出した。</p> <p>○大政奉還150周年を記念し、二条城二の丸御殿内のライトアップを実施。ライトアップ期間中に、二条城にて参画都市物産展や参画都市伝統芸能の公演等の交流・連携事業を実施。</p>	<p>○京都の奥深い魅力を活かした体験メニュー等を開発し、京都市認定ガイドによる体験型ツアーを実施する。</p> <p>○認定後の「京都市認定通訳ガイド」へのスキルアップ研修を実施</p>
方向性3	観光・産業・学術・教育・福祉・まちづくり等と文化芸術の融合	○	○	80	<p>★最新のコンテンツを活用した文化芸術の創造・普及(◎新規)</p> <p>京都では「京都国際マンガミュージアム」をはじめ、大学や企業等において、最新のコンテンツ、メディア芸術に関する研究、人材育成、新産業の創出等が進められています。</p> <p>この良質な環境をいかし、研究等を進める中で、最新のコンテンツと文化芸術、伝統産業等を結び付けることにより、新たな文化芸術の創造、産業振興を目指します。</p> <p>また、そのようなコンテンツは、子どもの興味関心を引き出すツールとして活用できるため、文化芸術、伝統産業等の普及に活用することを検討します。</p>	<p>○コンテンツ産業振興事業の実施</p> <p>○文化庁メディア芸術祭 京都展「Ghost」</p> <p>アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門の文化庁メディア芸術祭の受賞作品等の鑑賞機会を提供し、京都におけるメディア芸術の創造とその発展を図った企画展。</p> <p>期間：平成30年1月14日～2月4日</p> <p>場所：ロームシアター京都</p> <p>○若者のための「京都・和の文化体験の日」の実施</p> <p>吉例顔見世興行連携イベントとして、「はじめまして歌舞伎」を開催。12月の吉例顔見世興行で襲名披露を行う八代目中村芝翫らが、最新ICT技術を用いて、リアルとバーチャルを融合させた演出で「四人連獅子」(素踊り)を上演。併せて、隈取とICTが融合し、歌舞伎俳優になったかのような体験ができる「変身歌舞伎」の展示も実施。</p> <p>日時：平成29年11月12日</p> <p>場所：先斗町歌舞練場</p>	<p>○コンテンツ産業振興事業の実施</p> <p>○MANGAナショナルセンター誘致推進事業の実施</p>
方向性3	観光・産業・学術・教育・福祉・まちづくり等と文化芸術の融合	○	○	81	<p>★多様な価値観の変化に合わせた伝統的な文化芸術・伝統産業の一体的な発信(◎新規)</p> <p>京都の伝統的な文化芸術を支え、また、それによって磨かれてきた伝統産業は、今日においても、地域の経済と社会に不可欠な京都の基幹産業となっていますが、生活様式や価値観の変化により、厳しい状況が続いています。</p> <p>総合芸術と呼ばれている茶道や能楽の所作には、正式には和室など和の空間が必要であり、茶碗や壺、和装などの工芸品等も必要となります。文化芸術活動の活性化は、産業振興につながっています。</p> <p>茶道、華道、香道等の伝統的な文化芸術の魅力に触れ、そこで使われる道具や背景を理解したうえで、その商品が購入できるようにするなど、文化と産業を一体的に事業展開します。</p>	<p>○「京都・和の文化体験の日」の実施(歌舞伎)(11月～12月)</p> <p>・「はじめまして歌舞伎」の開催</p> <p>・ワークショップの開催</p> <p>・情報冊子の配布</p> <p>○京都伝統産業ふれあい館における「歌舞伎のモノコト展」の実施</p> <p>「京の年中行事 當る成歳 吉例顔見世興行 東西合同大歌舞伎」が、南座の改修工事に伴い、29年12月にロームシアター京都で開催されることに併せ、京都伝統産業ふれあい館で南座(松竹株式会社)の協力の下、特別展を開催し、伝統工芸品の制作体験も実施。</p> <p>・歌舞伎のモノコト展</p> <p>・隈取柄の摺型友禅染体験の実施</p> <p>・歌舞伎にまつわる伝統工芸ワークショップ</p> <p>○京もの海外進出支援事業</p> <p>海外の市場ニーズにあった「商品」を海外デザイナーとともに開発する「Kyoto Contemporary」及び海外の建築資材やインテリア市場に「素材」を提案する「Kyoto Connection」の2つのアプローチにより商品を開発し、国際見本市への出展・展示商談会を開催。日本においても、京都凱旋展「京都展」を開催し、新たな商品を展示。</p>	<p>○「京都・和の文化体験の日」の実施(冬季)</p>

第2期 京都文化芸術都市創生計画					29年度実績(30年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の29年度取組予定から転記しています。	29年度末 時点の 進捗状況	30年度取組予定
方向性	見出し	重要	新規	施策 番号			
方向性3	観光・産業・学術・教育・福祉・まちづくり等と文化芸術の融合	○	○	82	<p>★文化芸術資源を再認識し、文化芸術資源と学術・技術の融合による新たな価値・イノベーションの創出(◎新規)</p> <p>京都にとって当たり前のように捉えられている伝統的な文化芸術、技術やサービスは、外部の目から見ると違う価値があり、新たな可能性を秘めています。</p> <p>また、文化芸術は、学術や技術と融合することで、無限の可能性が広がります。大学等の研究機関や本市の産業技術研究所などと連携することで文化芸術に関するイノベーションを起こし、文化芸術の魅力を最大限に引き出した公演や商品開発等を検討します。</p>	<p>○文化芸術創造拠点・京都プロジェクトの実施</p> <p>・KYOTO PROJECT START UP FORUMの開催 開催日：平成30年3月21日 来場者：約200名</p> <p>・伝統芸能×新技術(AR技術による能楽鑑賞) 展示期間：平成30年1月14日～2月4日、3月21日～25日 体験者：約800名</p> <p>ほか5事業</p> <p>○匠の技「見える化」プロジェクト</p> <p>○世界で活躍する研究者等が集う交流拠点の形成</p> <p>○産業技術研究所による研究開発</p> <p>・セルロースナノファイバー(CNF)の実用化研究</p> <p>・京都の伝統工芸による感性価値の高い介護食器の開発</p> <p>・漆の研究及び活用</p> <p>・清酒醸造業者への技術支援</p> <p>・京都高度伝統文化イノベーション事業(京都市産業技術研究所中期計画)</p>	<p>○文化芸術創造拠点・京都プロジェクトの実施</p> <p>○産業技術研究所による研究開発</p> <p>・セルロースナノファイバー(CNF)の実用化研究</p> <p>・京都の伝統工芸による感性価値の高い介護食器の開発</p> <p>・漆の研究及び活用</p> <p>・清酒醸造業者への技術支援</p> <p>・伝統産業イノベーション事業(京都市産業技術研究所第2期中期計画)</p>
方向性3	観光・産業・学術・教育・福祉・まちづくり等と文化芸術の融合			83	<p>・「京もの」の海外進出支援事業の推進</p>	<p>○平成26年1月に調印した「京都市・パリ市共同宣言」に基づき、パリ市運営のデザイン・インキュベーション施設「アトリエ・ド・パリ」のデザイナーと連携して、海外ニーズにあった伝統産業製品を開発し、パリで開催される国際見本市「メゾン・エ・オブジェ」やパリ市内のギャラリー・ショールーム等に展出了。</p>	<p>○京都とパリの職人・アーティストが相互交流やコラボレーションすることにより、アート市場を志向した作品を創作し、国際見本市やパリのギャラリー、日本国内の百貨店等に展覧・販売を実施予定。</p> <p>○京都の技術を生かした素材を欧州と始めとする海外市場へ売り出すため、専門家によるコンサルティングを実施し、パリで開催される国際見本市に出展予定。</p>
方向性3	観光・産業・学術・教育・福祉・まちづくり等と文化芸術の融合			84	<p>・「伝統産業の日」の全国拡大をはじめとした伝統産業の振興</p>	<p>○本市独自に制定した「伝統産業の日」を含む2～3月を集中期間とし、1年間にわたり「伝統産業の日」関連事業として実施。</p> <p>○新たな観光資源の発掘と伝統産業製品の販路拡大を図る工房訪問事業の推進</p> <p>○京ものブランド確立に向けた生産履歴システムの開発等の支援</p> <p>○「京都伝統産業ふれあい館」を核とした、観光や販売促進の視点を取り入れた伝統産業の振興</p> <p>○「日本酒乾杯条例」を契機に新たなプロジェクトに取り組む伝統産業若手職人の支援</p> <p>○世界にはばたく伝統産業後継者育成事業</p>	<p>○本市独自に制定した「伝統産業の日」を含む2～3月を集中期間とし、1年間にわたり「伝統産業の日」関連事業として実施。</p> <p>○新たな観光資源の発掘と伝統産業製品の販路拡大を図る工房訪問事業の推進</p> <p>○京ものブランド確立に向けた生産履歴システムの開発等の支援</p> <p>○「京都伝統産業ふれあい館」を核とした、観光や販売促進の視点を取り入れた伝統産業の振興</p> <p>○「日本酒乾杯条例」を契機に新たなプロジェクトに取り組む伝統産業若手職人の支援</p> <p>○世界にはばたく伝統産業後継者育成事業</p>
方向性3	観光・産業・学術・教育・福祉・まちづくり等と文化芸術の融合			85	<p>・多様な地域資源をいかしたメディア芸術(コンテンツ産業)の振興</p>	<p>○マンガ・アニメの総合見本市「京都国際マンガ・アニメフェア」等の開催</p> <p>○メディア芸術祭地方展採択</p>	<p>○マンガ・アニメの総合見本市「京都国際マンガ・アニメフェア」等の開催</p>
方向性3	観光・産業・学術・教育・福祉・まちづくり等と文化芸術の融合	○		86	<p>・暮らしの文化と密接に関わる農林業施策における「食の文化」「花の文化」「木の文化」の振興(◎新規)</p>	<p>○「食の文化」</p> <p>京の旬野菜推奨事業、農業啓発イベントの実施 他</p> <p>○「花の文化」</p> <p>花関連産業振興のためのモデル事業実施</p> <p>京の花物語(5月)、キッズフラワーコンテスト(7月)等</p> <p>○「木の文化」</p> <p>①住宅や店舗等への木材利用による木のぬくもりあるまちづくりの推進</p> <p>②屋外広告物などへの木材利用、北山丸太スギへの枝打ちの支援等による京都らしいまちづくりの推進</p> <p>③災害に強い森づくりの推進</p> <p>○伝統工芸品「和ろうそく」の地産地消の取組</p> <p>○北部山間地域における地域資源を活かした新事業の創出(京北産マツタケの再生、広河原の自伐材を用いた炭の活用、別所に自生するチマキザサ活用に向けた調査・育成)</p>	<p>○「食の文化」</p> <p>京の旬野菜推奨事業、農業啓発イベントの実施 他</p> <p>○「花の文化」</p> <p>花関連産業振興のための事業実施</p> <p>「京の花」物語(花き品評会・プリザーブドフラワーコンテスト)(4月)等</p> <p>○「木の文化」</p> <p>①住宅や店舗等への木材利用による木のぬくもりあるまちづくりの推進</p> <p>②屋外広告物などへの木材利用、北山丸太スギへの枝打ちの支援による京都らしいまちづくりの推進</p> <p>③災害に強い森づくり事業の推進</p> <p>○伝統工芸品「和ろうそく」の地産地消の取組</p> <p>○北部山間地域における地域資源を活かした地産地消の取組(京北産マツタケの再生、別所に自生するチマキザサ活用に向けた調査・育成)</p> <p>○大規模集約型林業モデル事業</p>

第2期 京都文化芸術都市創生計画					29年度実績(30年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の29年度取組予定から転記しています。	29年度末 時点の 進捗状況	30年度取組予定
方向性	見出し	重要	新規	施策 番号	施策・事業名及び内容 (★は重要事業、●は推進施策、◎は新規事業) ※第2期計画内容		
方向性3	観光・産業・学術・教育・福祉・まちづくり等と文化芸術の融合			87	・京都市立芸術大学における市民との積極的な交流や情報発信の推進	実施済み 又は実施中	○芸術資料館収蔵品展 ○30年度も1年を5期に分けて開催 第1期:4月11日～5月13日 明治150年記念 画学生のまなざし —京都市動物園との出会い (京都市動物園との連携展示。動物園内展示:4月14日～5月13日) 第2期:5月19日～6月24日 新収蔵品展 2017～2018 第3期:6月30日～8月5日 山口華揚 生命の美を写す —平成29年度新収蔵品おひろめ展— 第4期:9月18日～10月21日 京の絵手本—写生と運筆 第5期:10月27日～12月2日 遷る学舎 画学校から芸大まで (御苑・吉田・今熊野・沓掛) ○ギャラリー@KCUA(アクア)の活用 ○年間十数回の展覧会と随時各種イベントの開催 その中で、若手芸術家の育成や海外アートシーンの紹介などを通じ、学生や芸術家等との交流の場として、また文化芸術を身近に感じることが出来る開かれた大学の拠点として展開を図る。
方向性3	観光・産業・学術・教育・福祉・まちづくり等と文化芸術の融合			88	・京都芸術教育コンソーシアム等における芸術系大学との連携の推進	実施済み 又は実施中	○京都芸術教育コンソーシアム ○引き続き、芸術教育の普及をめざし共同研究「京都芸術教育研究事業」や各種連携事業を実施。 ○30年度も「京都芸術教育フォーラム」、「京都子どもアート探検ラリー」を実施予定。 ○引き続き、文化芸術コア・ネットワークの中で芸術系大学とも連携予定。
方向性3	観光・産業・学術・教育・福祉・まちづくり等と文化芸術の融合			89	・京都が誇る大学・研究機関等の集積の活用	実施済み 又は実施中	○大学のまち・京都の魅力を体感できる短期留学受入プログラムの実施 ○大学等の資源をいかに取組として、大学コンソーシアム京都と協働で実施している社会人向けの生涯学習事業である「京カレッジ」において、「京都力養成コース」や、文化力・地域力の向上を目的とする「教養力養成コース」など、京都ならではの文化芸術に関する講座を提供 科目提供大学:30大学・2機関 提供科目数:276科目 出願者数:1,679人 ○市立芸大での取組 ・学外連携の充実 授業のカリキュラムとしての取組や、学内での掲示告知により、学生の自由参加を促す。 ①地下鉄北山駅・二条城前駅における本学生の作品展示 北山駅 9月から展示 依頼者:京都市音楽芸術文化振興財団 二条城前駅 6月末から展示 依頼者:京の七夕実行委員会 ②東山花灯路で本学生の作品を展示 3月展示 ③西京区役所・下京区役所との事業連携 ④祇園祭りで配布されるうちわのデザイン制作 8月配付 ⑤京都水族館・交通局との産官学連携イベントの実施 8月上旬にイベント スタンプラリー台紙、景品のデザインを実施
方向性3	観光・産業・学術・教育・福祉・まちづくり等と文化芸術の融合			90	・京都市考古資料館での大学等と連携した合同企画展の実施	実施済み 又は実施中	○市内の大学との合同企画展 立命館大学と合同企画展を実施「布と石の考古学入門」(12月～1月)
方向性3	観光・産業・学術・教育・福祉・まちづくり等と文化芸術の融合			91	・番組小学校創設150周年・京都市学校歴史博物館開館20周年記念事業の実施	企画・構 想・設計 段階	○京都市学校歴史博物館開館20周年記念・番組小学校創設150周年記念グッズ(エコバッグとアルマイト食器セット)の販売(継続) ○番組小学校創設150周年記念プレ事業企画展「京都番組小学校史入門—創設150周年へカウントダウン—」の実施(「明治150年・京都の奇跡プロジェクト」先行事業に位置付けられている)

第2期 京都文化芸術都市創生計画					29年度実績(30年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の29年度取組予定から転記しています。	29年度末 時点の 進捗状況	30年度取組予定
方向性	見出し	重要	新規	施策 番号			
方向性3	文化財を守り活用する	○		92	<p>★★世界遺産・二条城が文化財保存と活用のモデルとなる取組の実施 文化財活用の全国モデルとなるべく、世界遺産・二条城の格式や歴史的価値を最大限にいかし、MICE等に活用(ウェディング、市民大茶会、アートアクアリウム城、クラシックコンサート、シンポジウム等)することにより、その魅力を国内外に発信します。</p>	<p>○二条城 ○番所修理工事完了 ○本丸御殿修理工事着手 ○東大手門修復完成記念に伴う東大手門・東南隅櫓の特別公開(～7/31、ただし東大手門のみ9/30まで) ○夏の早期開城(7月～8月) ○東アジア文化都市各事業(コア期間) ○世界遺産・二条城の大休憩所リニューアルオープン</p>	<p>○本丸御殿修理工事 ○夏の入城時間延長(7月～8月:午前8時～午後6時、9月:午前8時～午後4時) ○世界遺産二条城MICEプラン ○世界遺産二条城ウエディング</p>
方向性3	文化財を守り活用する	○	○	93	<p>★和装、華道、庭園文化など京都に息つき世界的に評価の高まっている和の文化の振興とユネスコ無形文化遺産への登録に向けた支援(◎新規) 京都に息つき世界的に評価の高まっている和の文化のユネスコ無形文化遺産への登録に向けた支援を行います。 また、市民が和の文化に触れる機会をつくり、機運を高めるため、公共施設への和室設置を進め、民間の建物にも奨励するなど、和の文化と伝統産業の振興を行います。</p>	<p>○北山丸太の販路拡大に向け、北山丸太の生産者と連携した展示会等への出展をとおして、全国の住宅、マンション、ホテル等の建築会社、建材会社や建築士等事業者とのマッチングの機会を創出するとともに、全国建築士会の会報等を用いて、北山丸太の魅力発信を行った。 ○和室の設置をはじめ、市民等が和の文化に触れる機会の創出を検討するため、関係部署と協議を継続して実施する。</p>	<p>○北山丸太の継続的な販路拡大に向け、京都館プロジェクト2020と連携し、首都圏における京都ゆかりの事業者へ北山丸太を使用したしつらえづくりを支援するなど、北山丸太の情報発信を実施する。 ○ユネスコの無形文化遺産登録に向け、「和装(きもの文化)」の国へ支援の要望を実施 ○京都館プロジェクト2020において、北山杉需要拡大を目的としたPR活動を展開。</p>
方向性3	文化財を守り活用する	○		94	<p>★京都市指定・登録文化財の公開に向けた大規模な改修を推進するなど「未来へつなぐ歴史的建造物等計画的修理事業」の実施 東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、京都の魅力を発信するため、平成26年度から31年度(オリンピック・パラリンピックの開催前年)までの6箇年計画により、市指定・登録文化財建造物等を対象として、一般公開に向けた修理の支援を集中的に行っていきます。</p>	<p>○「未来へつなぐ歴史的建造物等計画的修理事業」として、市指定・登録文化財の修理案件の中から、建造物3件、名勝3件を選定し、修理事業を実施した。</p>	<p>○「未来へつなぐ歴史的建造物等計画的修理事業」の実施</p>
方向性3	文化財を守り活用する	○		95	<p>★市独自の文化遺産を維持、継承、活用するための先駆的な取組等の推進 京都を彩る建物や庭園制度、京都をつなぐ無形文化遺産制度を創設し、これまで、市独自に京都のあらゆる文化遺産を維持、継承、活用するための先駆的な取組を進めてきました。今後も、継続して取り組むとともに、これまで得た成果を踏まえて創設した、まち・ひと・こころが織り成す京都遺産制度を推進し、多様な文化遺産について、地域性、歴史性、物語性を持った集合体として認定し、新たな魅力を伝え、京都の文化遺産を守り、いかす取組につなげます。 また、国が創設した日本遺産制度との連携も視野に入れて取組を進めていきます。</p>	<p>○「京都の財産として残したい建物や庭園」の公募 審査会を開催し、追加の選定・認定を行う。 ○選定及び認定されたものへの支援策 ・ランクアップ助成の交付 ・「京都を彩る建物や庭園」所有者交流会の開催 ○「京都をつなぐ無形文化遺産」制度 ・「京の年中行事」を選定(3月) ・「京の食文化」料理教室(2.8,10,12.3月) ・小学生対象「京おどり」(3月) ・「お地蔵さんと地藏盆」夏休み親子歴史教室(8月) ・親子お菓子教室(6.9月) ・京菓子展(10月) ○「まち・ひと・こころが織り成す京都遺産」 ・「明治の近代化への歩み」「千年の都の水の文化」「京町家とその暮らしの文化」を認定 ・スマートフォンアプリ「京都遺産めぐり」の配信 ・認定記念イベント「北野西陣～その歴史と魅力を語る～」開催</p>	<p>○「京都の財産として残したい建物や庭園」の公募 審査会を開催し、追加の選定及び認定を行う。 ○選定及び認定されたものへの支援策 ・京都を彩る建物や庭園修理事業助成(仮)の交付 ・「京都を彩る建物や庭園」所有者交流会の開催 ○「京都をつなぐ無形文化遺産」普及啓発事業 ○「暮らしの文化はくみ事業」における「京都をつなぐ無形文化遺産」の普及啓発事業の実施 ○「まち・ひと・こころが織り成す京都遺産」 ・審査会を開催し、テーマの認定を行う。 ・スマートフォンアプリ「京都遺産めぐり」の配信</p>

第2期 京都文化芸術都市創生計画					29年度実績(30年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の29年度取組予定から転記しています。	29年度末 時点の 進捗状況	30年度取組予定	
方向性	見出し	重要	新規	施策 番号	施策・事業名及び内容 (★は重要事業、・は推進施策、◎は新規事業) ※第2期計画内容			
方向性3	文化財を守り活用する	○		96	★豊かな文化の根源となる生物多様性を守るための取組の推進 京都では、五穀豊穡を祝う伝統行事や、地域の祭で使われる祭祀品などに多くの生物資源が用いられてきました。その原料を調達し、加工する過程までを含め、文化や産業として今なお根付いています。 今、その伝統的な文化を支える資源が、絶滅の危機に瀕しています。本市では、フタバアオイやチマキザサなど、本市の伝統的な文化を育んできた本市固有の生きものの保全を図ることを目的に、京の生きもの文化協働再生プロジェクト認定制度を創設、運用することで、生物多様性を守り、文化を継承します。	○フタバアオイやチマキザサなど、本市の伝統的な文化を育んできた本市固有の生きものの保全を図ることを目的に、京の生きもの文化協働再生プロジェクト認定制度を運用する。	実施済み 又は実施 中	○フタバアオイやチマキザサなど、本市の伝統的な文化を育んできた本市固有の生きものの保全を図ることを目的に、京の生きもの文化協働再生プロジェクト認定制度を運用する。
方向性3	文化財を守り活用する			97	・みやこ文化財愛護委員、京都市文化財マネージャーの育成	○みやこ文化財愛護委員養成講座の実施(1回実施:18名参加) ○文化財マネージャーの育成講座の実施(14回実施)	実施済み 又は実施 中	○みやこ文化財愛護委員養成講座の実施 ○文化財マネージャーの育成講座の実施
方向性3	文化財を守り活用する			98	・若年層がほんものの歴史や文化財に触れる機会を増やし、地元の歴史への理解や文化遺産を大切にす意識の向上の推進	○京都市考古資料館で夏期教室を実施(参加者:50名) ○出土遺物の学校への貸出を実施(18件)	実施済み 又は実施 中	○京都市考古資料館で夏期教室を実施 ○出土遺物の学校への貸出を実施
方向性3	文化財を守り活用する			99	・文化財への愛護思想と防火意識の向上を目的とした防火防災教育・研修の実施	○「夏の文化財防火運動」及び「文化財防火運動」の実施 ・平成29年7月12日～18日及び平成30年1月23日～29日までの間に、文化財防火運動を実施し、文化財関係者、市民、観光客等に対して防火啓発を行った。 ○文化財防火サマースクールの開催 ・平成29年7月31日に教王護国寺(東寺)で実施し、小中学生及び保護者120名が参加した。 ○文化財防火・市民講座の開催 ・平成29年7月3日に京都国立博物館で実施し、市民等99名が参加した。 ○消防の図画・ポスター・作文募集	実施済み 又は実施 中	○「夏の文化財防火運動」及び「文化財防火運動」の実施 ○みんなDE文化財防火スクールの開催 ○市内の未就学児、小学生、中学生から、消防に関する図画、ポスター、作文を募集
方向性3	文化財を守り活用する			100	・市指定文化財等への指定・登録や文化財防災マスターの養成など地域と連携した文化財の保存及び活用の推進	○文化財指定・登録 ・文化財指定・登録(10件) ・文化財指定準備調査を実施(10回) ・埋蔵文化財の試掘・発掘調査を実施(発掘調査45件、試掘調査140件) ○文化財防災マスター養成 ・平成29年9月29日及び平成30年3月2日に文化財防災マスター養成研修を実施し、99名を養成した。(累計571人) ○文化財市民レスキュー体制の構築 ○文化財周辺における「たき火又は喫煙を制限する区域」の指定 ・平成30年3月末までに、300対象物、515箇所の禁止区域を指定した。	実施済み 又は実施 中	○文化財指定・登録 ・文化財指定・登録 ・文化財指定準備調査を実施 ・埋蔵文化財の試掘・発掘調査を実施 ○文化財防災マスター養成 ○文化財周辺における「たき火又は喫煙を制限する区域」の指定 ○各消防署において、文化財レスキューによる訓練を実施 ○防災行動マニュアルに基づく訓練の実施 ○地域発災型訓練の実施 ○各種防火運動時等に訓練や研修を実施
方向性3	文化財を守り活用する			101	・地域づくりの中核となる文化遺産を市民が保存・活用するための取組の促進	○史跡公園等の史跡の維持管理、地域文化遺産の保存・活用を実施 ○出土遺物の貸出や特別展示・速報展示を実施	実施済み 又は実施 中	○史跡公園等の史跡の維持管理、地域文化遺産の保存・活用を実施予定 ○出土遺物の貸出や特別展示・速報展示を実施予定

第2期 京都文化芸術都市創生計画					29年度実績(30年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の29年度取組予定から転記しています。	29年度末 時点の 進捗状況	30年度取組予定	
方向性	見出し	重要	新規	施策 番号	施策・事業名及び内容 (★は重要事業、・は推進施策、◎は新規事業) ※第2期計画内容			
方向性3	文化財を守り活用する			102	・文化財の保存と活用の推進及びMICE活用への展開	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財指定・登録 <ul style="list-style-type: none"> ・文化財の指定・登録を実施(10件) ・文化財指定準備調査を実施(10回) ・埋蔵文化財の試掘・発掘調査を実施(発掘調査45件、試掘調査140件) ○無鄰菴の公開及びイベントの開催(講座、ライトアップ等) ○岩倉具視幽棲旧宅の公開及びイベントの開催(講座、ワークショップ等) ○旧三井家下鴨別邸の公開(講座、ライトアップ等) ○京都市婚活支援事業(伝統産業・近代美術等の鑑賞・体験イベント等を実施) ・京都婚活2017 <ul style="list-style-type: none"> 伝統産業の体験、近代美術館の鑑賞等を実施 ・京都婚活 in 涉成園 <ul style="list-style-type: none"> 和菓子作り、聞香を実施 ・京町家で京都婚活 <ul style="list-style-type: none"> 京町家において、友禅染や、出汁の飲み比べ、和食を食べながらのマナー講座等を実施 ○円山公園の再整備(修復)による名勝地としての魅力向上 	実施済み又は実施中	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財指定・登録 <ul style="list-style-type: none"> ・文化財の指定・登録を実施 ・文化財指定準備調査を実施 ・埋蔵文化財の試掘・発掘調査を実施 ○無鄰菴の公開及びイベントの開催 ○岩倉具視幽棲旧宅の公開及びイベントの開催 ○旧三井家下鴨別邸の公開及びイベントの開催 ○京都市婚活支援事業(体験イベント等を実施) ○円山公園の再整備(修復)による名勝地としての魅力向上
方向性3	文化財を守り活用する			103	・琵琶湖疏水をはじめとした近代化遺産の活用	<ul style="list-style-type: none"> ○水路閣改修調査検討委員会の提言に基づき水路閣の動態観測解析を実施 ○「蹴上浄水場 第1高区配水池」の更新 ○「琵琶湖疏水通船復活」平成29年春の試行事業(4月) ○琵琶湖疏水通船で活用する新造船運航訓練・関係者試乗会(11月) ○本格事業化に向けた運営体制の確立、船舶建造及び訓練等 ○「琵琶湖疏水通船」本格運航開始(30年3月29日から) 	実施済み又は実施中	<ul style="list-style-type: none"> ○水路閣改修調査検討委員会の提言に基づき水路閣の動態観測を継続実施 ○「琵琶湖疏水通船」本格運航を継続実施 ○琵琶湖疏水沿線の魅力向上・発信のための取組実施
方向性3	文化財を守り活用する			104	・京都における新たな世界遺産の登録	<ul style="list-style-type: none"> ○“京都をつなぐ無形文化遺産”の選定及び普及啓発事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・「京の年中行事」を選定(3月) ・「京の食文化」料理教室(8,10,12,3月) ・小学生対象「京おどり」(3月) ・「お地蔵さんと地蔵盆」夏休み親子歴史教室(8月) ・親子お菓子教室(6,9月) ・京菓子展(10月) ○「京の食文化」普及啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・「京都・和食文化推進会議」和食文化京都大賞の授賞(3月) ○ユネスコの無形文化遺産登録に向け、「和装(きもの文化)」の国へ支援の要望を実施(5月29日) ○「和装」、「いけばな」及び「庭園文化」のユネスコ無形文化遺産登録に向けた支援を国に要望 ○世界遺産条約締結40周年記念事業は24年度で終了 	一部を除き、実施済み又は実施中	<ul style="list-style-type: none"> ○“京都をつなぐ無形文化遺産”普及啓発事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・「京の食文化」料理教室(1月・4月) ・「京の菓子文化」親子お菓子教室(年2回) ○「京の食文化」普及啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・「京都・和食文化推進会議」和食文化京都大賞・京都和食文化賞の授賞 ○ユネスコの無形文化遺産登録に向け、「和装(きもの文化)」の国へ支援の要望を実施
方向性3	景観を保全し再生する	○		105	★文化芸術の視点による京都らしい景観の向上 マンホールアート、まちのシンボルとなる橋等、文化芸術の視点に配慮した景観を創造し、京都のまちなみ、景観の向上に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ○【上下水】文化庁移転先周辺でのマンホールアートについて具体的なデザインの検討を進める。 ○【建設】 <ul style="list-style-type: none"> ・美装化工事完成(二条大橋) ・デザイン検討会議開催(河合橋) 	実施済み又は実施中	<ul style="list-style-type: none"> ○【上下水】引き続きマンホールアートについて具体的なデザインの検討を進める。 ○【建設】美装化工事(御園橋、河合橋、賀茂大橋)
方向性3	景観を保全し再生する	○		106	★公共工事の現場において、文化芸術により、イメージアップを図るための取組 工事現場の仮囲いを利用した「青空美術館」の開催や京都市美術館の工事現場における文化芸術の活用など、工事現場のイメージアップを図るとともに、芸術活動の発表の場として活用します。	<ul style="list-style-type: none"> ○【美術館】美術館再整備工事用の仮囲いを利用して、文化芸術等の情報発信を行う。 ○【上下水】平成29年度に予定している取組はなし。 	実施済み又は実施中	<ul style="list-style-type: none"> ○【美術館】美術館再整備工事用の仮囲いを利用して、文化芸術等の情報発信を行う。 ○【上下水】津知橋幹線公共下水道工事の現場において、仮囲いを利用した「青空美術館」を開催予定。

第2期 京都文化芸術都市創生計画					29年度実績(30年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の29年度取組予定から転記しています。	29年度末 時点の 進捗状況	30年度取組予定
方向性	見出し	重要	新規	施策 番号	施策・事業名及び内容 (★は重要事業、・は推進施策、◎は新規事業) ※第2期計画内容		
方向性3	景観を保全し再生する			107	・無電柱化の推進による都市災害の防止と歴史的景観の向上	○歴史的風致形成建造物等の指定拡大により、歴史的建造物の保全・再生に取り組むとともに、歴史まちづくりを推進 ○無電柱化事業の推進	○歴史的風致形成建造物等の指定拡大により、歴史的建造物の保全・再生に取り組むとともに、歴史まちづくりを推進 ○無電柱化事業の推進 ○無電柱化候補路線の選定
方向性3	景観を保全し再生する			108	・京都の景観をかたちづくる屋外広告物制度の適正な運用	○京都の景観をかたちづくる屋外広告物制度の適正な運用	○京都の景観をかたちづくる屋外広告物制度の適正な運用
方向性3	文化施設を充実する	○		109	★★京都市美術館の再整備の推進 京都市美術館は、全国で2番目の公立美術館として開館し、市民の皆様をはじめ、多くの人々に親しまれてきました。 昭和8年の開館以来初めてとなる大規模改修により、本館を全面的に改修するとともに、地下空間も活用しつつ、新館を建設し、現代美術などの新しい芸術表現に対応する環境を整備することで、外観・機能ともに、日本を代表する美術館としての価値を高めます。 また、岡崎エリア全体の回遊性、一体性を高め、カフェやミュージアムショップを新設することで賑わいを創出し、より多くの方が訪れる美術館を目指します。	○実施設計(平成29年3月～) ○再整備事業準備工事の実施(平成29年7月～12月) ○再整備事業本工事着手(平成30年1月～) ○埋蔵文化財発掘調査の実施(平成29年4月～平成30年3月)	○再整備工事本工事実施(本館及び新館工事)
方向性3	文化施設を充実する	○		110	★ロームシアター京都を拠点とした劇場文化の創造・発信 昭和35年4月に開館して以来、「文化の殿堂」として親しまれてきた京都公会館は、ネーミングライツを活用して再整備を行い、平成28年1月に「ロームシアター京都」としてリニューアルオープンしました。 “京都に「劇場文化」をつくる”をコンセプトに、新たな公共施設のモデルとなるよう取組を進めます。	○事業の実施 自主・共催事業 29事業111公演4講座1展示 総入場者数 707,367人	○事業の実施
方向性3	文化施設を充実する	○		111	★京都市立芸術大学の移転整備 京都市立芸術大学は、我が国随一の芸術の学びと創造の拠点として歴史と伝統を重ねてきましたが、世界に冠たる芸術大学として一層飛躍するため、京都の玄関口・京都駅の東部エリアへの移転整備を進めます。また、この移転整備を契機として、京都駅の東側に、「文化芸術都市・京都」の新たな文化ゾーンの創出を目指します。	○京都市立芸術大学新キャンパスの設計に着手 ○移転整備プレ事業の実施 ・ギャラリー@KCUAにおいて、「still moving 2017: 距離へのパス—far away/so close」(9～11月)を開催 ・元崇仁小学校の教室を改装した崇仁ギャラリーにおいて、「教室のフィロソフィー」(3月)を開催	○京都市立芸術大学新キャンパスの基本設計及び実施設計の実施 ○移転整備プレ事業の実施
方向性3	文化施設を充実する			112	・文化芸術活動を支え、発表する場(拠点)の整備等	○京都市美術館再整備工事実施設計・工事着手 ○京都コンサートホールにおいて、市民参加によるリレーコンサートを開催 ○北山あおいフェスティバル開催支援による、府市協調による地下鉄北山駅周辺地域の活性化の推進	○京都市美術館再整備工事実施 ○京都コンサートホールにおいて、市民参加によるリレーコンサートを開催 ○北山あおいフェスティバル開催支援による、府市協調による地下鉄北山駅周辺地域の活性化の推進
方向性3	文化施設を充実する			113	・文化芸術関連機関・施設の交流や連携の促進	○29年度の京都ミュージアムズ・フォー事業 ・連携講座「日展の流れと京都の美術～京都市美術館コレクションを中心に～」 実施日:1月4日 ・スタンプラリー 実施期間:10月1日～11月30日	○30年度の京都ミュージアムズ・フォー事業 ・連携講座「明治から平成まで 京都を彩った日展111年の名作・話題作」 実施日:1月3日 ・スタンプラリー 実施期間:10月1日～11月30日
方向性4	文化の力で京都から地方創生を実現する	○		114	★★文化庁の全面的な移転に向けた取組の着実な推進 オール京都で、受入環境の整備や機運の一層の醸成に取り組むとともに、文化庁はもとより、大学等の関係機関、全国の自治体等と連携し、文化の力で京都から地方創生を実現します。 とりわけ、先行移転に伴う文化庁の組織である「地域文化創生本部」と連携し、新たな政策ニーズに対応することで、広がりや深みのある文化行政を推進します。	○文化庁の受入体制の整備 ○シンポジウムやセミナー等による機運の醸成 ・文化庁移転推進の機運醸成のためのシンポジウムを大阪と東京で開催(11月、2回) ・連続講座「プロフェッショナルに聞く!～文化庁移転と文化芸術の未来～」の開催(12月、3月) ○文化庁地域文化創生本部設置を記念した式典(4月) ○その他、各種事業や広報等を通じた文化庁の京都移転・新たな文化行政の発信	○文化庁の受入体制の整備 ○シンポジウムやセミナー等による機運の醸成 ○その他、各種事業や広報等を通じた文化庁の京都移転・新たな文化行政の発信

第2期 京都文化芸術都市創生計画					29年度実績(30年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の29年度取組予定から転記しています。	29年度末 時点の 進捗状況	30年度取組予定
方向性	見出し	重要	新規	施策 番号			
方向性4	文化の力で京都から 地方創生を実現する	○		115	<p>★文化を通じた全国の地場・伝統産業の振興など地方創生を進めるモデル事業の先行的な実施 全国の自治体、経済界、大学等と連携しながら、日本の文化を振興し、全国の地場・伝統産業の振興など、文化を通じて日本の地方創生を進めるモデル事業を実施します。</p>	<p>○文化による社会の活性化や地方創生、国際交流への貢献を目指し、本市の文化政策をあらゆる関連分野と融合・連携させていく、全庁横断的な体制として、「文化首都・京都」推進本部を設置し、平成29年4月26日に第1回会議を開催。 ・推進本部の下部組織として、「第1部会 文化・観光・経済の融合」と「第2部会 文化芸術を活かしたまちづくり」を設置し、具体的な議論を行っている。 ○「文化を基軸とした市政運営」に係る重点方針の策定</p>	<p>○文化による社会の活性化や地方創生、国際交流への貢献を目指し、本市の文化政策をあらゆる関連分野と融合・連携させていく、全庁横断的な体制としての「文化首都・京都」推進本部会議を開催する。 ○推進本部の下部組織として、「第1部会 文化・観光・経済の融合」と「第2部会 文化芸術を活かしたまちづくり」を開催し、具体的な議論を行う。</p>
方向性4	文化の力で京都から 地方創生を実現する	○		116	<p>★多様な文化活動の場における文化庁のサテライト機能(文化芸術関係者・団体の交流・連携の創出等)を果たすための取組の推進 二条城等の文化財や、京都芸術センター等の文化活動の現場を、幅広い文化芸術団体や芸術家が集い、交流する文化庁のサテライト機能(交流・連携の創出)を果たす場として活用し、京都府・経済界との連携を図りながら、新たな文化行政の裾野を拡大することに貢献します。</p>	<p>○文化庁のサテライトとしての機能に関する企画・調査</p>	<p>○昨年度の調査結果を踏まえ、本市における文化庁サテライト機能を更に充実させるための方策について検討を進める。</p>
方向性4	国内外との文化交流 を促進する	○		117	<p>★京都芸術センターを拠点(ハブ)としたアーティスト・イン・レジデンスによる国内外との文化交流の推進 文化芸術都市・京都から、世界中のアーティストをつなぐ窓口としての役割を果たすため、文化庁や関係機関と連携し、京都芸術センターにおいて国内外のアーティスト・イン・レジデンスの活動をつなぐ役割を果たします。 また、京都市景観・まちづくりセンターと連携し、アーティスト・イン・レジデンスの取組において、積極的に京町家を活用します。</p>	<p>○京都芸術センターで「アーティスト・イン・レジデンス ラウンドテーブル」、「建築Symposium」、「Kyoto A.I.R Alliance Program」を実施 ○景観・まちづくりセンターでは、主体的にまちづくり活動に取り組む市民に、大学やNPO等が主催する事業に参加している研究者やアーティストの滞在先、京町家に関する情報提供等を実施した。</p>	<p>○京都芸術センターでアーティスト・イン・レジデンス(AIR)事業を実施 ○京都芸術センターで、AIR Alliance Platformを実施 ○京都芸術センターでアーティスト・イン・レジデンス Res Artis ミーティングを実施 ○景観・まちづくりセンターでは、主体的にまちづくり活動に取り組む市民に、大学やNPO等が主催する事業に参加している研究者やアーティストの滞在先、京町家に関する情報提供等を実施。</p>
方向性4	国内外との文化交流 を促進する	○		118	<p>★ICOM(国際博物館会議)京都大会2019の開催の推進 世界各国からの博物館専門家の参加が見込まれ、博物館を中心とする文化イベントとして大きな成果が期待されるICOM京都大会2019が開催されることにより、京都市内博物館施設連絡協議会(京博連)に加盟する博物館との連携を強化するとともに、本市の伝統産業や観光の活性化を推進します。</p>	<p>○京都推進委員会の実施(平成30年3月、第2回会議) ○ICOM京都大会関連イベントの企画・実施 ・「ザ・ハーバード・クロコディロス」京都公演及びミュージアム・ミニコンサートの実施(6月) ・「博物館講座」の実施(7月・10月・11月・12月・平成30年1月) ・「京博連25周年記念シンポジウム」の実施(平成30年2月) ・「ナイトミュージアム京都」の実施(平成30年2月～3月) ・「京都ミュージアムウォーク」の実施(平成30年3月) ・「京都ミュージアムロード」及び同時開催「京のスイーツミュージアム」の実施(平成30年2月～3月) ・「超異次元対談」の実施(平成30年3月) ○「ミュージアム・京・ミーティング」の実施(平成30年3月) ○ICOM京都大会PRチラシ・PR名刺シールの作成 ○ICOM日本委員会等関係団体との調整・対応</p>	<p>○プレイベント事業(市単独事業) ・「ミュージアムキッズフェア京都大会」の実施 ・「明治150年記念デジタル・スタンプラリー」の実施 ・「京都謎解きミュージアム巡り」の実施 ○プレイベント事業(ICOM京都推進委員会事業・市府共管事業) ・ミュージアム各館において市民・府民が楽しめるプレイベントを実施(夜間開館や特別公開、ガイドツアー、ギャラリートーク、講演会など) ○多言語化対策事業(ICOM京都推進委員会事業・市府共管事業・ミュージアム対象) ・「多言語化対策研修」の実施 ・「語学研修」の実施 ・「Wi-Fi設置事業」の実施 ○ICOM日本委員会等関係団体との調整・対応</p>

第2期 京都文化芸術都市創生計画					29年度実績(30年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の29年度取組予定から転記しています。	29年度末 時点の 進捗状況	30年度取組予定	
方向性	見出し	重要	新規	施策 番号	施策・事業名及び内容 (★は重要事業、・は推進施策、◎は新規事業) ※第2期計画内容			
方向性4	国内外との文化交流を促進する	○		119	<p>★東アジア文化都市2017京都の開催 「東アジア文化都市」は、日本、中国、韓国の各国から選定された3都市において、現代芸術や伝統的な文化芸術等に関連する、多彩な文化芸術イベントや文化交流を実施する事業で、京都市は、中国・長ちようさ沙市、韓国・大てぐ邱広こういき域市とともに平成29年(2017年)の開催都市に選定されています。平成29年(2017年)には京都で、これまでの東アジア文化都市の開催都市等の首長が集まる「東アジア文化都市サミット」を初めて開催します。</p>	<p>○東アジア文化都市2017京都 (1) 日中韓文化交流事業 ア アーティスト等の相互派遣(6月～11月) イ 青少年の相互派遣(8月) ウ 日中韓文化ウィークin京都(9月) エ 中韓開催都市の式典や交流事業への派遣(4月～12月) (2) 京都の文化力事業 ア 京都いけばなプレゼンテーション2017(6月) イ 邦楽の体験と公演「日本の音 入門」(9月) ウ 世界遺産二条城での伝統芸能公演(10月) (3) コア期間事業 ア 現代美術部門(8月～10月) イ 舞台芸術部門(10月～11月) ウ 音楽部門(11月) エ マンガ・アニメ部門(9月～11月) (4) 市民の文化芸術活動等との連携事業(4月～11月) (5) 東アジア文化都市サミット(8月下旬) (6) 閉幕式典(11月) ○「朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流会2017京都大会」</p>	実施済み 又は実施 中	<p>○青少年文化交流プログラム及び中韓文化芸術団体の相互交流の実施 ○東アジア文化都市サミットへの参加</p>
方向性4	国内外との文化交流を促進する	○		120	<p>★★「東京オリンピック・パラリンピック」「関西ワールドマスターズゲームズ2021」等を契機とした国際的な文化の祭典の開催とその成果の継承 東京オリンピック・パラリンピック、関西ワールドマスターズゲームズ2021等の開催に向け、国とも連携し、文化芸術、産業、観光分野による国際的なフェスティバルや大きな節目を迎える時期の周年記念事業を展開します。また、平成32年(2020年)に向け、市民をはじめ、国内外の観光客、学生、将来を担う若手芸術家、世界中で活躍するアーティストなど人種を越え世界中の人々が京都に集い、京都が持つ文化力を世界に発信し、体感できる祭典を開催し、その成果を継承します。</p>	<p>○「京都文化カプロジェクト2016～2020」の実施 ・第1回推進フォーラムの実施(4月) ・公式ポスターデザインコンテストの実施(6月～12月) ・beyond2020プログラム認証(8月～) ・東京キャラバンin京都・二条城の実施(リーディング事業)(9月) ・第2回推進フォーラムの実施(30年2月) ・機関誌(第2号)の発行(30年2月) ・ポータルサイトの運営</p> <p>○「ワールドマスターズゲームズ2021関西」に向けた取組 ・「ワールドマスターズゲームズ2021関西」京都市実行委員会準備会の開催(4月) ・「ワールドマスターズゲームズ2021関西」京都市実行委員会の設立(4月) ・ワールドマスターズゲームズ2017オーランド大会の視察(4月) ・ワールドマスターズゲームズ2021関西の開催に向けた国際マスターズゲームズ協会(IMGA)による競技会場視察の受入(6月、10月) ・大会のPR事業(みんなのスポーツフェスタ(京都市主催)(10月)、プレミアム・サタデーin Kyoto(10月)、健康づくりフェスティバル(1月)、京都マラソン2018(2月)) ・ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会が「全国大連合」との連携協定締結(11月) ・公益財団法人ラグビーワールドカップ2019組織委員会、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会、関西ワールドマスターズゲームズ2021組織委員会による3大会の連携協定締結(11月) ・ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会が「全国大学体育連合」との連携協定締結(3月) ・第1回「ワールドマスターズゲームズ2021関西」京都市実行委員会総会の開催(3月)</p>	実施済み 又は実施 中	<p>○「京都文化カプロジェクト2016～2020」の実施 ・野外インスタレーション公募展の開催(リーディング事業) ・ワークショップ・シンポジウム等の開催(リーディング事業) ・マルチリンガル伝統文化ウィークin二条城の開催 ・推進フォーラムの実施 ・機関誌の発行 ・ポータルサイトの運営 ・beyond2020プログラム認証 ○ワールドマスターズゲームズ2021関西 ・京都市総合実施計画の策定 ・開会式実施計画の策定 ・ホームページ・広報印刷物等の作成 ・1000日前イベントの開催 ・アジアパシフィックマスターズゲームズ2018ペナン大会等を活用したPR ・京都市実行委員会総会・幹事会の開催</p> <p>○東京オリンピック・パラリンピック ・フラッグツアー</p>
方向性4	国内外との文化交流を促進する	○		121	<p>★スポーツ・文化・ワールド・フォーラムをキックオフとした京都文化カプロジェクト2016～2020の各種事業の展開 平成32年(2020年)の東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機として、京都から日本文化の真髄と深い精神性を世界に向けて発信する多彩な文化の祭典を開催するため、「京都文化カプロジェクト実行委員会」において、実施計画を策定し、事業を実施します。</p>	<p>○第1回推進フォーラムの実施(4月) ○公式ポスターデザインコンテストの実施(6月～12月) ○beyond2020プログラム認証(8月～) ○東京キャラバンin京都・二条城の実施(リーディング事業)(9月) ○第2回推進フォーラムの実施(30年2月) ○機関誌(第2号)の発行(30年2月) ○ポータルサイトの運営</p>	実施済み 又は実施 中	<p>○野外インスタレーション公募展の開催(リーディング事業) ○ワークショップ・シンポジウム等の開催(リーディング事業) ○マルチリンガル伝統文化ウィークin二条城の開催 ○推進フォーラムの実施 ○機関誌の発行 ○ポータルサイトの運営 ○beyond2020プログラム認証</p>

第2期 京都文化芸術都市創生計画					29年度実績(30年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の29年度取組予定から転記しています。	29年度末 時点の 進捗状況	30年度取組予定	
方向性	見出し	重要	新規	施策 番号	施策・事業名及び内容 (★は重要事業、●は推進施策、◎は新規事業) ※第2期計画内容			
方向性4	国内外との文化交流を促進する	○		122	★大政奉還150周年記念プロジェクトの実施 平成29年に、二条城での大政奉還から150年を迎えることから、幕末維新にかけて京都で活躍した先人たちの歩みを改めて振り返り、再評価し、全国にその歴史的価値をアピールするとともに、先人たちと縁を持つ都市と、相互に交流・連携を図る事業を実施します。	○シンポジウム・ディスカッション・講座等の実施 区民講座「私たちの幕末維新」を各区にて開催(9～H30・1月) 子供向け歴史教室の開催(8月) 各種展覧会との連携した特別展の開催 「京都・明治150年」記念シンポジウムの開催(12月) ○幕末維新スタンプラリーの開催(1～12月) ○京都市内エリア別「幕末維新周遊マップ」の発行とスタンプラリーの開催(6～12月) ○幕末維新サミットの開催と二条城のライトアップ事業の実施(10月) ○広報・情報連携発信事業 専用ホームページに情報発信とシンボルマークの活用 ○歴史資料館で特別展「岩倉具視の生きた時代」開催(9月29日～30年1月23日)	実施済み又は実施中	H29年度で終了
方向性4	国内外との文化交流を促進する	○	○	123	★創造都市ネットワークとの連携(◎新規) 創造都市ネットワーク日本の加盟都市との連携による国内の創造都市との交流を深めるとともに、ユネスコ創造都市ネットワークの加盟申請に向けた取組を進めます。	○ユネスコ創造都市ネットワーク加盟を見据えて、東アジア文化都市を契機とした、東アジア文化都市サミット(平成29年8月26日)をはじめとする、東アジアにおける文化交流ネットワークづくりや世界歴史都市連盟理事会(平成29年9月6日～7日)など、文化を基軸とした都市間交流に取り組んだ。	一部を除き、実施済み又は実施中	○ユネスコ創造都市ネットワーク加盟を見据えて、東アジア文化都市交流事業や世界歴史都市会議など、文化を基軸とした都市間交流に取り組む。
方向性4	国内外との文化交流を促進する			124	・留学生の本市文化事業への参加等留学生による文化芸術交流の推進	○「展覧会 東アジア文化都市2017京都」アジア回廊でインターンとして留学生を受け入れ ○市立芸大での取組 ・交換留学の実施 芸大からの学生派遣(美術8名、音楽1名) 派遣期間:美術7～1月、音楽10～2月 提携校の学生受入(美術7名、音楽3名) 受入期間:前期4～7月(1名)、後期10～12月(7名)、 通年4～12月(1名)、10～平成30年度前期(1名) ・留学生展の開催 ギャラリー@KCUAで、12月に実施 ○市民狂言会等で留学生を招待 ○留学生優待プログラムにおいて、文化施設への入場優待やイベントへの無料招待を実施 文化施設等無料入場制度 利用者数:3,594名 無料招待事業 延べ参加者数:997名	実施済み又は実施中	○市立芸大での取組 ・交換留学の実施(芸大からの学生派遣、提携校の学生受入) ・学生展の開催 ○市民狂言会等で留学生を招待 ○留学生優待プログラムにおいて、文化施設への入場優待やイベントへの無料招待を実施
方向性4	国内外との文化交流を促進する			125	・姉妹都市、世界歴史都市連盟加盟都市等との文化交流事業の推進	○平成28年度に引き続き、「京もの海外進出支援事業」を実施し、1月の国際見本市等に出展し、海外における販路開拓を目指した。 ○地域の隠れた観光資源を紹介する、京都産木材製駒札設置の推進 ○会津若松市との交流 ○みやこサミット(大津市・奈良市との交流) ○新潟市との交流 ○「龍馬の絆で結ぶ都市間交流」 ○京都府宇治市との交流 ○京都市代表团が京都市民団とともに姉妹都市キエフを訪問し、様々な記念事業に参加(6月) ○「京都市友好都市青少年会議」を開催(8月) ○トルコ、ブルサ市において、2017年度世界歴史都市連盟理事会を開催(9月) ○国際理解教育の推進	実施済み又は実施中	○京都市・パリ市姉妹都市60周年及び京都商工会議所及びパリ商工会議所友好協約30周年を記念し、「知恵ビジネスメッセinParis」を実施。 ○パリ市との共同で京都とパリの職人やアーティストが交流してアート市場を志向した作品を創作する「京ものアート市場開拓支援事業」を実施。 ○会津若松市との交流 ○みやこサミット(大津市・奈良市との交流) ○新潟市との交流 ○「龍馬の絆で結ぶ都市間交流」 ○京都府宇治市との交流 ○西安市との青少年交流 ○トルコ、ブルサ市において第16回世界歴史都市会議を開催予定(9月) ○京都・パリ友情協約締結60周年記念記念事業(6月他) ○第27回民族の文化にふれる集い ・日時:平成31年2月2日(土) 午後1時30分～ ・場所:京都市呉竹文化センター ・内容:京都市立学校及び京都市内の民族学校の小・中学生による、韓国・朝鮮をはじめとする様々な国の文化・伝統に関わるステージ発表(踊りや楽器演奏等)及び作品展示。 ○多文化学習推進プログラム ・京都市立小・中・小中学校において、外国人を講師として招き、多様な言葉や文化にふれる取組を実施中。 ○土曜コリア教室 ・9月から2月までの土曜日に全6回実施。 ・場所:総合教育センター ほか (最終回は第27回民族の文化にふれる集いに参加) ・内容:参加児童の発達段階やニーズを踏まえ、韓国・朝鮮の言葉、遊び、音楽等を通して、韓国・朝鮮の生活や文化にふれるとともに、参加児童の交流を深める。

第2期 京都文化芸術都市創生計画					29年度実績(30年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の29年度取組予定から転記しています。	29年度末 時点の 進捗状況	30年度取組予定
方向性	見出し	重要	新規	施策 番号			
方向性4	京都の文化芸術を伝える・魅せる	○		126	<p>★文化・観光に関する情報の一元的把握及び入場券等を販売するWEBシステムの構築</p> <p>文化芸術情報サイトにおける海外向けのページのコンテンツを充実するとともに、文化芸術情報・観光情報の相互にアクセスすることができるなど、国内外からの観光客に、より手軽に分かりやすく、より質の高い文化芸術情報を提供します。利用者にとって必要な情報をまとめる仕組みを構築するとともに、文化芸術イベントの入場券等を販売するためのWEBシステム構築の検討などを進めていきます。</p>	<p>○KYOTO ART BOXを継続して運用</p> <p>○京都観光公式ホームページ「京都観光Navi」において、京都の文化体験等に係る情報発信を実施</p> <p>○外国人向け京都観光公式ホームページ「Kyoto Official Travel Guide」において、13言語で京都の文化体験等に係る情報発信を実施</p> <p>○外国人観光客向けのチケット販売システムの実証実験を実施</p>	<p>○KYOTO ART BOX を継続して運用</p> <p>○外国人観光客向け観光、文化イベント入場券等オンライン販売に向け、民間事業者と連携</p> <p>○京都観光公式ホームページ「京都観光Navi」を充実し、京都の文化体験等に係る情報を分かりやすく発信</p> <p>○外国人向け京都観光公式ホームページ「Kyoto Official Travel Guide」において、13言語で京都の文化体験等に係る情報発信を実施</p>
方向性4	京都の文化芸術を伝える・魅せる	○		127	<p>★京都芸術センターを中心とした情報機能等の充実</p> <p>京都は、多種多様な文化芸術に関する活動が盛んに行われている都市です。これらの情報を感度よく収集し、適切に編集し、必要な所に必要な時に届くよう発信します。</p> <p>具体的には、京都芸術センターの持つ「情報センター機能」を基盤として、同センターが運営する「KYOTO ART BOX(京都アートボックス)」を効果的に活用することで、情報の収集・発信機能を充実します。</p>	<p>○文化芸術コア・ネットワークを継続して運用(25年度～)。例会や総会を実施</p> <p>○KYOTO ART BOX を継続して運用</p>	<p>○文化芸術コア・ネットワークを継続して運用(25年度～)。例会や総会を実施</p> <p>○KYOTO ART BOX を継続して運用</p>
方向性4	京都の文化芸術を伝える・魅せる	○		128	<p>★京都館の活用、海外情報拠点での情報発信など、広域的な情報発信の推進</p> <p>京都館の移転を契機に、国内外の人々を魅了し、京都ファンを増やす産業・文化の魅力発信力を一層強化します。</p>	<p>○「京あるきin東京」において、京都館など東京都内各所で、京都にゆかりのある企業や大学等が、京都の文化芸術、伝統産業など、京都の魅力を発信する様々なイベントを実施(2月～3月)</p> <p>○各国大使、メディア関係者等を対象に、奥深い京都の魅力を発信するセッション(2月)を首都圏で開催</p> <p>○外国人向け京都観光公式ホームページ「Kyoto Travel Guide」において、13言語で京都の文化体験等に係る情報発信を実施</p> <p>○京都館閉館(3月)。歌舞伎座ギャラリーなど様々な場所で京都の魅力を発信する「京都館プロジェクト2020」を実施。</p>	<p>○「京あるきin東京」において、京都館など東京都内各所で、京都にゆかりのある企業や大学等が、京都の文化芸術、伝統産業など、京都の魅力を発信する様々なイベントを実施予定(2月～3月)</p> <p>○各国大使、メディア関係者等を対象に、奥深い京都の魅力を発信するセッション(2月)を首都圏で開催予定</p> <p>○外国人向け京都観光公式ホームページ「Kyoto Travel Guide」において、13言語で京都の文化体験等に係る情報発信を実施</p> <p>○京都観光公式ホームページ「京都観光Navi」を充実し、京都の文化体験等に係る情報を分かりやすく発信</p> <p>○京都館プロジェクト2020を展開し、都内各所で、講座、イベントを開催するとともに、のれん分け事業者と連携した情報発信を行う。また、プロジェクトの情報を発信するWEBを立ち上げ、SNS等も活用した双方向の情報発信を実施。</p>
方向性4	京都の文化芸術を伝える・魅せる	○		129	<p>★京都観光振興計画2020や京都市MICE(マイス)戦略2020と連携した文化芸術に関する情報の効果的な発信</p> <p>文化事業等を企画し、情報を発信するためには、観光客に対しても効果的な取組を進める必要があります。</p> <p>具体的には、「京都市版DMO※24」と連携したコンテンツの発掘や磨き上げ、観光プロモーション等により対象者に応じた発信をすること、本市の観光案内所、民間事業者等(宿泊施設、鉄道会社等)と連携し、文化事業等を効果的に発信することに加え、京都の文化芸術は伝統から現代まで幅広いため、ニーズに応じた効果的な情報発信を展開します。</p> <p>また、MICEの振興により文化芸術都市・京都の都市の活力を向上させ、市民生活や経済の活性化、京都観光の「質の向上」につなげます。</p>	<p>○5,000人規模への拡充整備に係る国家予算要望の実施、多目的ホールに「京都らしい設え」を施すための調度・備品等の制作</p> <p>○リニア中央新幹線の京都誘致及び北陸新幹線の早期整備の国家予算要望の要望と市民等への広報啓発活動を実施</p> <p>○京都らしいMICE開催支援補助制度により、芸舞妓等の派遣や伝統産業製品購入等に対する支援を実施</p> <p>○寺院や神社等と連携した光のイベントを実施</p> <p>○京都らしい宿泊施設の案内表示</p> <p>○地域の隠れた観光資源を紹介する、京都産木材製駒札設置の推進</p> <p>○会津若松市との交流</p> <p>○みやこサミット(大津市・奈良市との交流)</p> <p>○新潟市との交流</p> <p>○龍馬の絆で結ぶ都市間交流</p> <p>○京都府宇治市との交流</p>	<p>○5,000人規模への拡充整備に係る国家予算要望の実施、多目的ホールに「京都らしい設え」を施すための調度・備品等の制作、2,500人規模の多目的ホールのオープン(10月)</p> <p>○リニア中央新幹線の京都誘致及び北陸新幹線の早期整備の国家予算要望の要望と市民等への広報啓発活動を実施</p> <p>○京都らしいMICE開催支援補助制度により、芸舞妓等の派遣や伝統産業製品購入等に対する支援を実施</p> <p>○伝統産業製品を活用した製品(会議用バッグ等)の作成や京都ならではの視察ツアーメニュー開発及び充実を行う。</p> <p>○寺院や神社等と連携した光のイベントを実施</p> <p>○地域の隠れた観光資源を紹介する、京都産木材製駒札設置の推進</p> <p>○会津若松市との交流</p> <p>○みやこサミット(大津市・奈良市との交流)</p> <p>○新潟市との交流</p> <p>○龍馬の絆で結ぶ都市間交流</p> <p>○京都府宇治市との交流</p>

第2期 京都文化芸術都市創生計画					29年度実績(30年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の29年度取組予定から転記しています。	29年度末 時点の 進捗状況	30年度取組予定
方向性	見出し	重要	新規	施策 番号	施策・事業名及び内容 (★は重要事業、●は推進施策、◎は新規事業) ※第2期計画内容		
方向性4	京都の文化芸術を伝える・魅せる	○		130	<p>★本市職員の文化力を高め、文化の魅力を伝える担い手となるための取組の実施</p> <p>国内外に京都の魅力を伝えるときに、市民はもとより、様々な人々と交流する機会が多い本市職員、子どもの文化的素養を育む教員が果たす役割は重要です。職員等が率先して、京都の魅力を伝える担い手となるよう、文化的素養を持った者の採用や、自己研鑽の促進及び研修の実施等により、職員等の文化力を高めます。</p> <p>○学校教職員を対象とした、茶道・華道をはじめとする伝統文化や伝統産業についての講義や実技体験等、京都の伝統文化・産業に直接触れる研修を通して、伝統に対する理解と認識を深め、子どもの文化的素養を育む教職員としての資質及び力量の向上を図る。</p> <p>○面接、基礎能力検査、グループディスカッション等により評価し、法律等の専門試験を実施しない、人物重視の新たな採用方式(京都方式)において、平成29年度から、求める人物像の具体例として、「京都の文化の魅力を理解し、発信する担い手となる文化的な素養を備えた方」という項目を追加</p> <p>○新任部長級研修、新任課長級研修、新任係長級研修において「文化力の向上」の講義を新設(延469名が受講)</p> <p>○新規採用職員研修及び新任部長級職員研修において、日本を代表する伝統文化への理解を深めることを目的として、昨年度に引き続き「茶道」の科目を実施(延222名が受講)</p> <p>○文化庁の京都への全面的移転を踏まえ、「文化首都・京都」の職員にふさわしい知識や教養を身に付けることを目的として、「文化力講座」を自主研修として新たに実施(「座禅」を108名、「合気道」を30名が受講)</p> <p>○「おもてなしの心」を学び、市バス・地下鉄をご利用いただくお客様に、より良質な、京都ならではのサービスを提供することを目的として、交通局職員を対象とした茶道体験講座などを自主研修として新たに実施</p>	実施済み 又は実施 中	<p>○学校教職員を対象とした、茶道・華道をはじめとする伝統文化や伝統産業についての講義や実技体験等、京都の伝統文化・産業に直接触れる研修を通して、伝統に対する理解と認識を深め、子どもの文化的素養を育む教職員としての資質・指導力の向上を図る。</p> <p>○面接、基礎能力検査、グループディスカッション等により評価し、法律等の専門試験を実施しない、人物重視の新たな採用方式(京都方式)において、平成29年度から、求める人物像の具体例として、「京都の文化の魅力を理解し、発信する担い手となる文化的な素養を備えた方」という項目を追加</p> <p>○新任部長級研修、新任課長級研修、新任係長級研修において、昨年度に引き続き「文化力の向上」の科目を実施(29年度は延469名が受講)</p> <p>○新規採用職員研修及び新任部長級職員研修において、日本を代表する伝統文化への理解を深めることを目的として、昨年度に引き続き「茶道」の科目を実施(29年度は延222名が受講)</p> <p>○文化庁の京都への全面的移転を踏まえ、「文化首都・京都」の職員にふさわしい知識や教養を身に付けることを目的として、昨年度に引き続き「文化力講座」を自主研修として実施(29年度は「座禅」を108名、「合気道」を30名が受講)</p> <p>○今日の伝統文化や生活文化に触れ「京都に息づく心の文化」を学ぶことにより、市バス・地下鉄をご利用いただくお客様に、より良質なサービスを提供することを目的として、交通局職員を対象とした文化力向上講座を自主研修として実施</p>
方向性4	京都の文化芸術を伝える・魅せる			131	<p>○KYOTO ART BOXを継続して運用(ソーシャルメディアサービス、スマートフォン等の携帯情報端末等への対応)</p> <p>○和の文化体験の日でSNSを運用。</p> <p>○学生広報部ウェブサイトなどを活用した大学のまち京都の魅力発信(京都学生広報部ウェブサイト「コトカレ」にて京都の魅力を発信)</p> <p>年間PV数:423,579PV</p> <p>○留学生スタディ京都ネットワークが運営する、京都留学総合ポータルサイト「Study Kyoto」における文化芸術情報の発信</p> <p>アクセス件数:121,191件</p>	実施済み 又は実施 中	<p>○KYOTO ART BOXを継続して運用(ソーシャルメディアサービス、スマートフォン等の携帯情報端末等への対応)</p> <p>○和の文化体験の日でSNSを運用</p> <p>○学生広報部ウェブサイトなどを活用した大学のまち京都の魅力発信(京都学生広報部ウェブサイト「コトカレ」にて京都の魅力を発信)</p> <p>○京都留学総合ポータルサイト「Study Kyoto」における文化芸術情報の発信</p>
方向性4	京都の文化芸術を伝える・魅せる			132	<p>・障害のある方のための文化芸術情報発信の工夫</p>	実施済み 又は実施 中	<p>○点訳奉仕員及び音訳奉仕員の養成</p>